

令和4年度  
埼玉県産業廃棄物処理実績報告等  
集計業務報告書  
(令和3年度実績)

令和5年3月



埼玉県



## 目 次

第1章 調査概要.....	1
1.1 調査の目的 .....	1
1.2 調査対象期間 .....	1
1.3 調査対象廃棄物.....	1
1.4 調査対象業種 .....	2
1.5 語句の定義 .....	2
1.6 産業廃棄物の処理フロー.....	3
1.7 廃棄物処理基本計画の目標値.....	4
第2章 産業廃棄物の排出量及び処理量の推計.....	5
2.1 推計方法 .....	5
2.2 推計結果 .....	12
第3章 行政報告の入力、整理.....	26
3.1 産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの 入力、整理 .....	26
3.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書データの入力、整理.....	30
資料編 .....	32
1. 県内産業廃棄物処理施設での品目別及び処理方法別の処分量.....	33
2. 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量.....	41
(県内処分量、県外運搬量) .....	41
3. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内・県外別、.....	42
運搬先別、品目別運搬量.....	42
4. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量.....	47
5. 産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量.....	52
6. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量.....	54

# 第1章 調査概要

## 1.1 調査の目的

本調査は、産業廃棄物処分業者等から報告された令和3年度の産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物排出事業者から報告された産業廃棄物処理計画実施状況報告書や産業廃棄物管理票交付等状況報告書等のデータを入力、集計、解析するとともに、県内における令和3年度の産業廃棄物の排出と処理の実態を推計し、把握することを目的とした。

## 1.2 調査対象期間

令和3年度：令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 1.3 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」(以下、「廃棄物処理法」とする。)に定められた産業廃棄物及び「その他(混合廃棄物)」を加えた21種類を対象とした。

表1.3-1 調査対象廃棄物

1：燃え殻	12：ゴムくず
2：汚泥	13：金属くず
3：廃油	14：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
4：廃酸	15：鉱さい
5：廃アルカリ	16：がれき類
6：廃プラスチック類	17：動物のふん尿
7：紙くず	18：動物の死体
8：木くず	19：ばいじん
9：繊維くず	20：政令第十三号廃棄物
10：動植物性残さ	21：その他(混合廃棄物)
11：動物系固形不要物	

#### 1.4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成25年10月改定）に基づく業種区分を基本とし、表1.4-1のとおりとした。

表1.4-1 調査対象業種

調査対象業種	分類される業種
農林漁業	農業、林業、漁業
鉱業	鉱業、採石業、砂利採取業
建設業	総合工事業、職別工事業、設備工事業
製造業	食品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業など
電気・ガス・水道業	電気業、ガス業、熱供給業、水道業
情報通信業	通信業、放送業、情報サービス業など
運輸業	鉄道業、道路旅客運送業、水運業、倉庫業など
卸・小売業	各種商品卸売業、各種商品小売業
物品賃貸業	不動産取引業、不動産賃貸業、物品賃貸業
学術研究、技術サービス業	学術・開発研究機関、専門サービス業など
飲食業	宿泊業、飲食店など
生活関連サービス業	洗濯・理容・美容・浴場業、娯楽業など
医療	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
サービス業 (他に分類されないもの)	金融・保険業、郵便局、協同組合、廃棄物処理業、自動車整備業、宗教、公務など

#### 1.5 語句の定義

- ① 排出量：「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」（令和3年3月発行）から国との整合性を考慮して使用しているもので、排出量は有償物量を除いたもの。

$$\text{発生量} = \text{排出量} + \text{有償物量}$$

## 1.6 産業廃棄物の処理フロー

産業廃棄物の発生から最終処分までの一連の流れは、図1.6-1に示すとおりである。また、処理フロー図の用語について表1.6-1に示す。

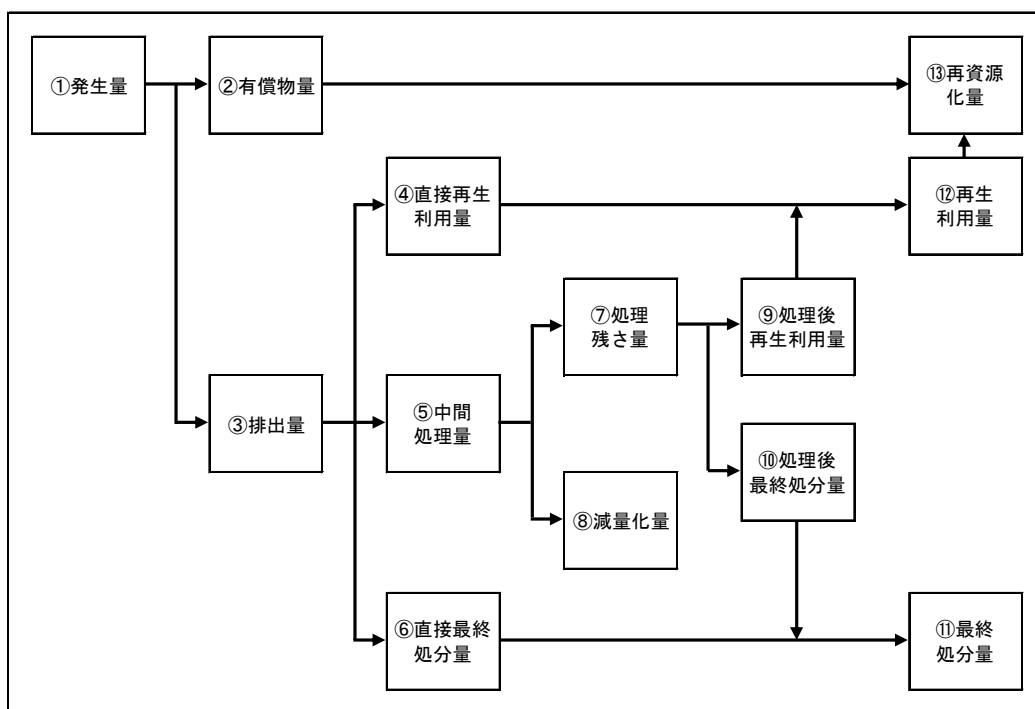


図1.6-1 産業廃棄物の処理フロー

表1.6-1 処理フロー図の用語

項目	定義
①発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
②有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
③排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
④直接再生利用量	他者に有償売却できないものを自ら利用した量
⑤中間処理量 (自己、委託)	排出量のうち、自己、委託中間処理を含め、中間処理された量
⑥直接最終処分量	排出量のうち、中間処理されずに排出事業者又は処理業者により最終処分された量
⑦処理残さ量 (自己、委託)	中間処理された後の廃棄物量
⑧減量化量 (自己、委託)	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量
⑨処理後再生利用量 (自己、委託)	処理残さ量のうち、処理業者等で自ら利用又は他者に有償で売却した量
⑩処理後最終処分量 (自己、委託)	処理残さ量のうち、最終処分された量
⑪最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
⑫再生利用量	排出事業者、処理業者等で再生利用された量
⑬再資源化量	有償物量と再生利用量の合計

## 1.7 廃棄物処理基本計画の目標値

「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」における産業廃棄物の目標指標は、「最終処分量」となっており、目標値は次のとおりである。

### ① 最終処分量

令和7年度の最終処分量を150千トンに削減

※平成30年度実績（159千トン）比、5.7%削減

## 第2章 産業廃棄物の排出量及び処理量の推計

### 2.1 推計方法

令和3年度に実施した産業廃棄物実態調査、産業廃棄物処理実績調査データ等と、第3章で整理した多量排出報告書、産業廃棄物管理票交付等状況報告書等のデータを用いて、令和3年度に埼玉県内で発生した産業廃棄物の排出量、再生利用量、最終処分量等の推計を行った。

また、下水道施設、農業（農業用プラスチックを除く）等に関する資料データは、表2.1-1に示す資料を用いた。



### (1) 排出量の推計

排出量の推計は図2. 1-1に示すフローに従って行った。

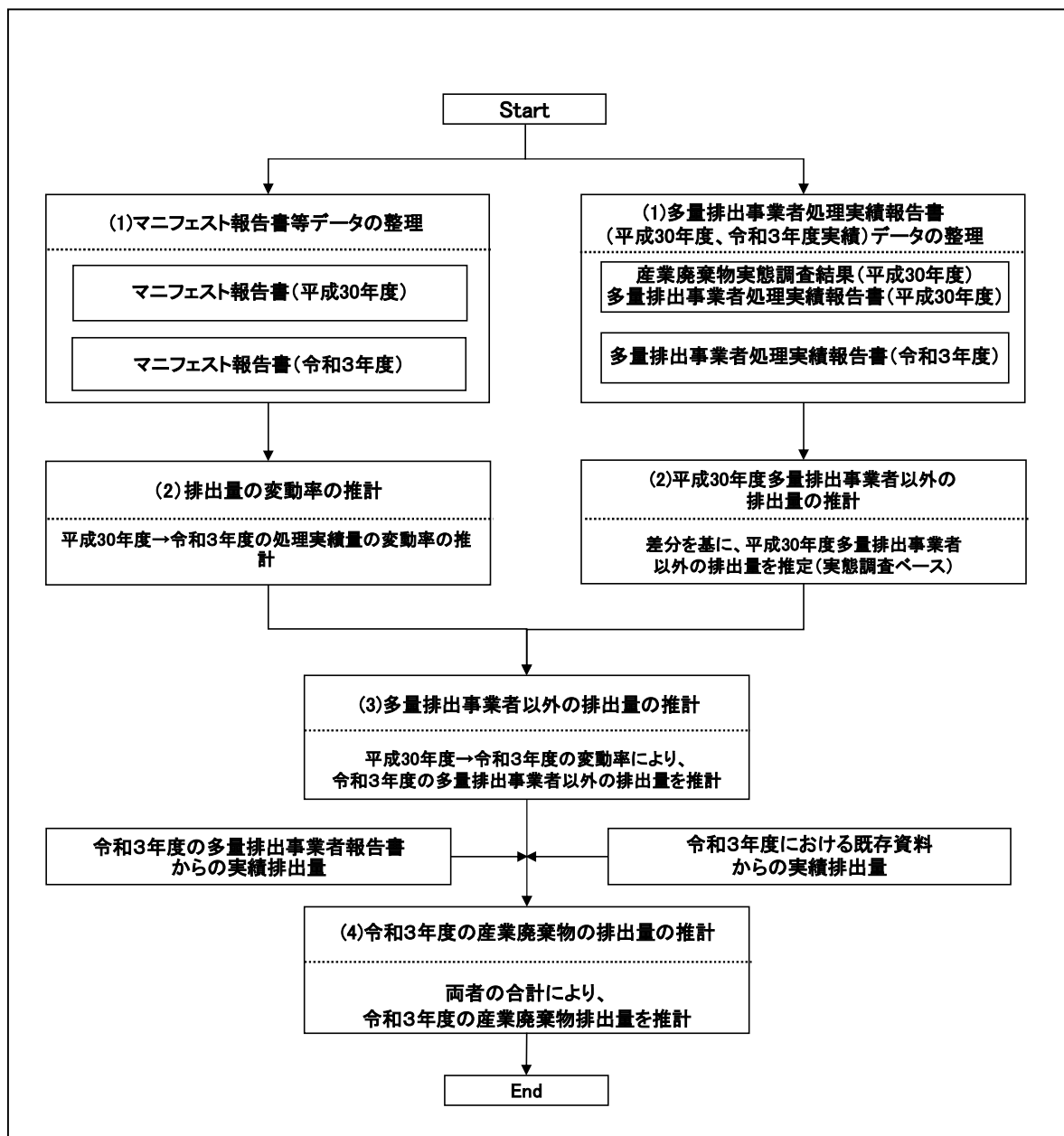


図2. 1-1 推計方法

### ③-1 排出量（多量排出事業者）

多量排出事業者の令和3年度の排出量（種類別、業種別）については、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力」で整理した実績値（平成30年度、令和3年度実績の提出がある事業者）を用いた。

### ③-2 排出量（多量排出事業者以外）

令和3年度の多量排出事業者以外の排出量を算出し、平成30年度実績から令和3年度実績のマニフェスト報告書排出量の増減率（A）を算出し、先に算出した多量排出事業者以外の排出量にこの増減率（A）を乗じて令和3年度の排出量（多量排出事業者以外）を推計した。

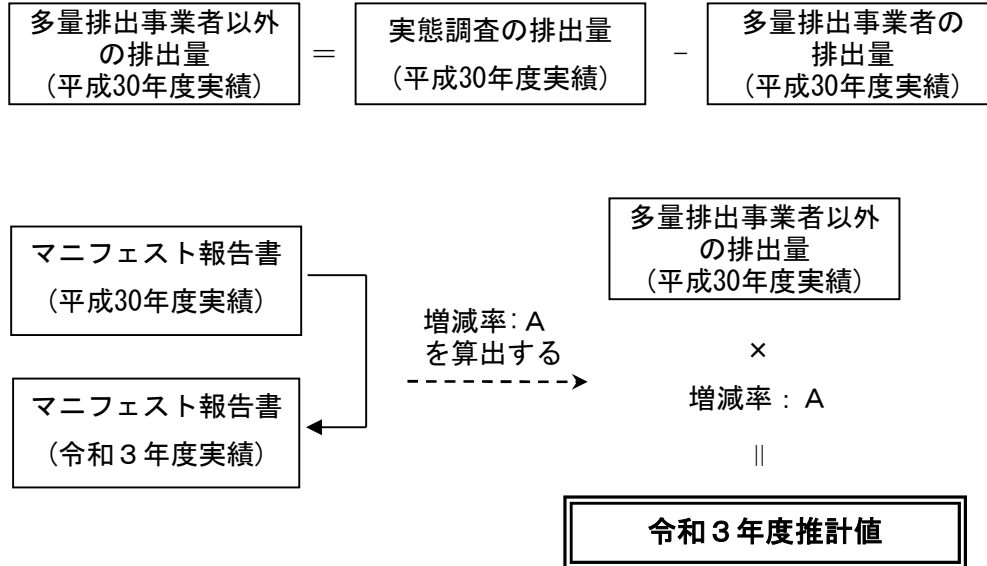


図2.1-2 排出量（多量排出事業者以外）の推計方法

### ③-3 排出量（農林漁業、鉱業、電気・ガス・水道業）

排出量の推計は「③-1 排出量（多量排出事業者）」「③-2 排出量（多量排出事業者以外）」の手法を基本としたが、農林漁業、鉱業の排出量の変動率については、マニフェスト報告書において把握することは困難であるため、既存資料により推計した。また、電気・ガス・水道業の「汚泥」については、別途まとめられている実績値を用いることとした。

表2.1-1 既存資料からの推計

業種	推計方法
農林漁業	動物のふん尿：平成30、令和3年度 畜産関係資料（埼玉県農林部畜産安全課） （平成30年度：700千t、令和3年度：573千t） 農業用廃プラスチック類：農業産出額の変動率より推計 （平成30年度：1,758億円、令和3年度：1,528億円）
鉱業	汚泥など：鉱工業指数（生産）の変動率より推計 （平成30年度：101.3、令和3年度：87.4）
電気・ガス・水道業	下水道汚泥：平成30、令和3年度下水道維持管理年報（財団法人埼玉県下水道公社）

## ② 有償物量

有償物量は、変動を把握することが困難であるため、「③ 排出量」と同様の変動率を用いて、推計を行った。

## ① 発生量

発生量は、「③ 排出量」と「② 有償物量」の合計であり、「③ 排出量」と「② 有償物量」の合計値とした。

### (2) 処理・処分状況の推計

前述の方法で推計した排出量を用いて、種類別、業種別に処理・処分状況を推計した。廃棄物の処理・処分状況は、埼玉県内の産業廃棄物処分業者が処分を行う部分については、排出量の推移により推計した。

また、実績報告書等では把握できない排出事業者の自己処理（脱水、焼却等）に伴う減量化量や最終処分量等については、これらの処理施設を有する事業者の大部分が多量排出事業者であると仮定し、多量排出事業者報告書から推計した。

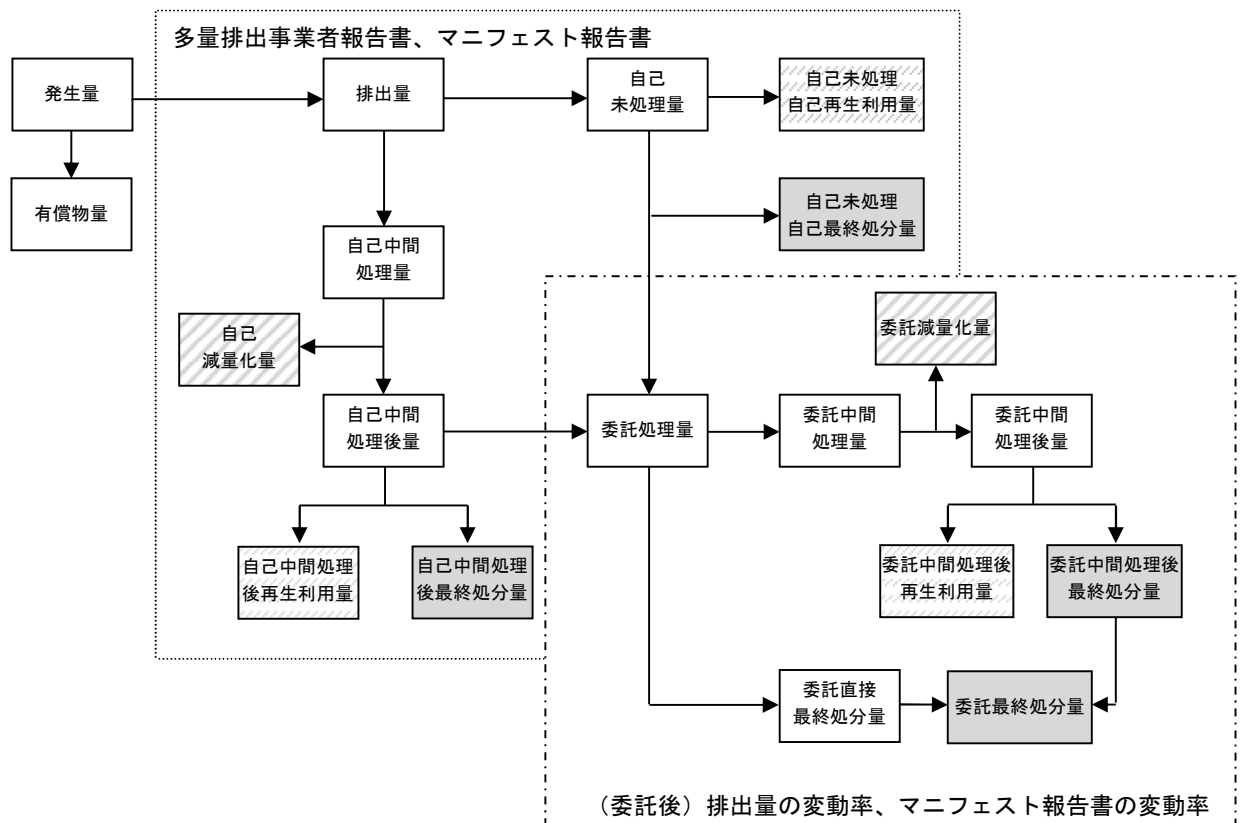


図2.1-3 産業廃棄物の処理・処分状況の把握手法概略図

#### ④ 直接再生利用量

多量排出報告書の令和3年度の直接再生利用量について、平成30年度との増減率（B）を算出し、実態調査（平成30年度実績）の直接再生利用量にこの増減率（B）を乗じて令和3年度の直接再生利用量を推計した。

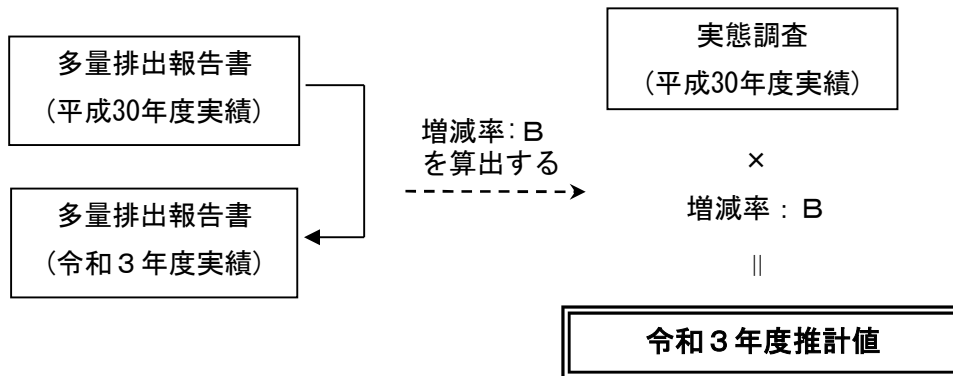


図2.1-4 直接再生利用量の推計方法

#### ⑤-1 中間処理量（自己中間処理量）

中間処理量（自己中間処理量）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

#### ⑤-2 中間処理量（委託中間処理量）

中間処理量（委託中間処理量）は「③排出量」から「④直接再生利用量」、「⑧-1自己減量化量」、「⑨-1処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑩-1処理後最終処分量（自己中間処理後）」、「⑥直接最終処分量」を減じた量とした。

#### ⑥ 直接最終処分量

直接最終処分量は、マニフェスト報告書の令和3年度の委託量（埼玉県内発生分）について、平成30年度との増減率（C）を算出し、実態調査（平成30年度実績）の直接最終処分量にこの増減率（C）を乗じて令和3年度の直接最終処分量を推計した。

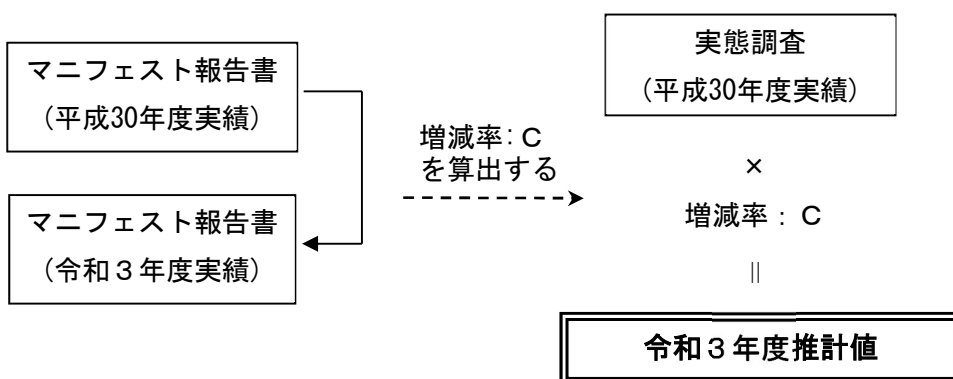


図2.1-5 直接最終処分量の推計方法

### ⑦-1 処理残さ量（自己中間処理後）

処理残さ量（自己中間処理後）は、後述する「⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）」の合計とした。

### ⑦-2 処理残さ量（委託中間処理後）

処理残さ量（委託中間処理後）は、後述する「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」、「⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）」の合計とした。

### ⑧-1 減量化量（自己中間処理後）

「⑤-1 中間処理量（自己中間処理量）」と「⑦-1 処理残さ量（自己中間処理後）」との差分により推計した。

### ⑧-2 減量化量（委託中間処理後）

「⑤-2 中間処理量（委託中間処理量）」と「⑦-2 処理残さ量（委託中間処理後）」との差分により推計した。

### ⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）

処理後再生利用量（自己中間処理後）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

### ⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）

実績報告書の令和3年度の処理後再生利用量（委託中間処理後）については、「排出量」の平成30年度と令和3年度の増減率（D）を算出し、実態調査（平成30年度実績）の処理後再生利用量（委託中間処理後）にこの増減率（D）を乗じて令和3年度の処理後再生利用量（委託中間処理後）を推計した。

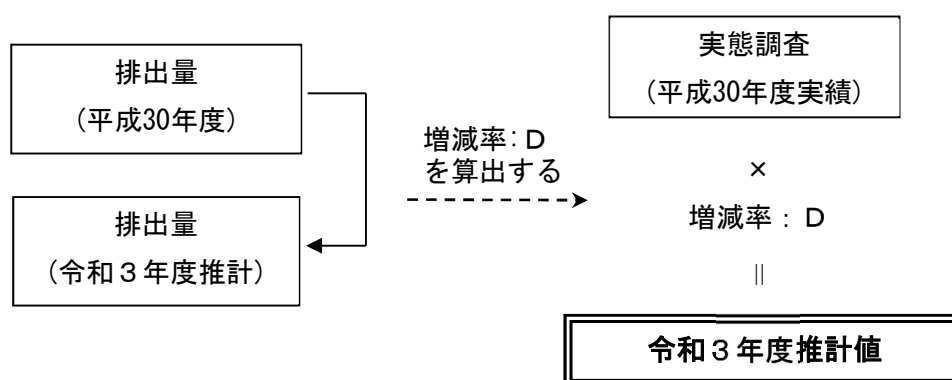


図2.1-6 処理後再生利用量（委託中間処理後）の推計方法

**⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）**

処理後最終処分量（自己中間処理後）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

**⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）**

処理後最終処分量（委託中間処理後）は、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」と同様の方法で推計した。

**⑪ 最終処分量**

最終処分量は、「⑥ 直接最終処分量」、「⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）」、「⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）」の合計とした。

**⑫ 再生利用量**

再生利用量は、「④ 直接再生利用量」、「⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」の合計とした。

**⑬ 再資源化量**

再資源化量は、「② 有償物量」、「⑫ 再生利用量」の合計とした。

**⑭ その他量**

その他量は、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」と同様の方法で推計した。

また、本推計においては各項目について単独で推計を行っているため、一連の処理・処分状況において、不整合を生じる可能性がある。例えば、減量することができない鉄くず、がれき類などは中間処理前と中間処理後において推計値が異なる結果が生じる場合がある。その際には、一連の過程において不整合が生じないように適宜補正を行った。

## 2.2 推計結果

### (1) 総発生量

令和3年度の種別・業種別の総発生量推計結果を表2.2-1に示す。

また、表2.2-2、図2.2-1に種別総発生量の経年変化、表2.2-3、図2.2-2に業種別総発生量の経年変化を示す。

令和3年度の総発生量は11,139千トンであり、廃棄物種別にみると、汚泥が6,301千トンで最も多く、次いでがれき類が2,046千トン、動物のふん尿が644千トンとなっている。業種別にみると、電気・ガス・水道業が4,539千トンで最も多く、次いで建設業が3,203千トン、製造業が2,450千トンとなっている。

また、経年変化をみると、令和元年度は増加したが、平成28年度以降減少傾向にある。

表2.2-1 種別・業種別の総発生量（令和3年度推計値）

①総発生量	(千トン/年)																		
	H29年度 合計	H30年度 合計	R1年度 合計	R2年度 合計	R3年度 合計	農 林 漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 ・ 小 売 業	物 品 買 貸 業	学 術 研 究 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	飲 食 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	医 療	サ ー ビ ス 業 ( 他 に 分 類 さ れ な い も の)
H29年度 合計	-	-	-	-	11,797	626	382	2,933	2,648	5,002	0	30	58	2	11	19	9	50	28
H30年度 合計	-	-	-	-	11,320	702	2	2,909	2,793	4,671	0	22	97	14	8	28	9	38	27
R1年度 合計	-	-	-	-	12,260	694	2	3,424	3,043	4,772	0	43	123	26	6	30	8	58	31
R2年度 合計	-	-	-	-	11,521	497	2	3,575	2,343	4,878	0	20	81	9	8	21	7	44	36
R3年度 合計	11,797	11,320	12,260	11,521	11,139	648	2	3,203	2,450	4,539	0	23	147	16	9	23	8	42	28
燃え殻	6	39	40	47	39	0	0	1	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	6,942	6,482	6,707	6,508	6,301	0	0	766	974	4,531	0	1	5	3	0	17	3	1	2
廃油	104	118	135	112	109	0	1	1	83	0	0	1	10	0	0	4	0	0	7
廃酸	28	38	47	32	36	0	0	0	33	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	46	52	40	48	33	0	0	1	26	0	0	0	3	0	2	0	0	0	
廃プラスチック類	336	387	452	316	388	2	0	55	225	0	0	8	67	3	3	2	5	7	
紙くず	368	305	378	287	297	0	0	16	281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	247	226	270	224	240	0	0	198	37	0	0	3	1	1	0	0	0	0	
繊維くず	6	4	5	3	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	110	159	188	112	156	0	0	0	156	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物	-	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	2	2	3	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	440	403	510	415	388	1	0	54	275	0	0	7	37	3	1	0	0	2	
ガラスくず・陶磁器くず	327	294	350	252	268	0	0	94	155	0	0	2	12	0	0	0	0	3	
鉱さい	192	156	138	117	101	0	0	0	101	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
がれき類	1,861	1,863	2,196	2,447	2,046	0	0	1,998	29	8	0	1	5	5	0	0	0	0	
動物のふん尿	626	700	691	567	644	644	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物の死体	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	27	35	35	42	27	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
政令第十三号廃棄物	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(混合廃棄物)	130	54	72	60	58	0	0	16	6	0	0	0	3	0	1	0	0	28	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-2 種類別総発生量の経年変化

(単位：千トン/年)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
合 計	11,797	11,320	12,260	11,521	11,139
燃え殻	6	39	40	47	39
汚泥	6,942	6,482	6,707	6,508	6,301
廃油	104	118	135	112	109
廃酸	28	38	47	32	36
廃アルカリ	46	52	40	48	33
廃プラスチック類	336	387	452	316	388
紙くず	368	305	378	287	297
木くず	247	226	270	224	240
繊維くず	6	4	5	3	4
動植物性残さ	110	159	188	112	156
動物系固形不要物	-	1	2	1	1
ゴムくず	2	2	3	3	2
金属くず	440	403	510	415	388
ガラスくず・陶磁器くず	327	294	350	252	268
鉱さい	192	156	138	117	101
がれき類	1,861	1,863	2,196	2,447	2,046
動物のふん尿	626	700	691	567	644
動物の死体	-	-	-	-	0
ばいじん	27	35	35	42	27
政令第十三号廃棄物	0	-	-	0	0
その他（混合廃棄物）	130	54	72	60	58

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

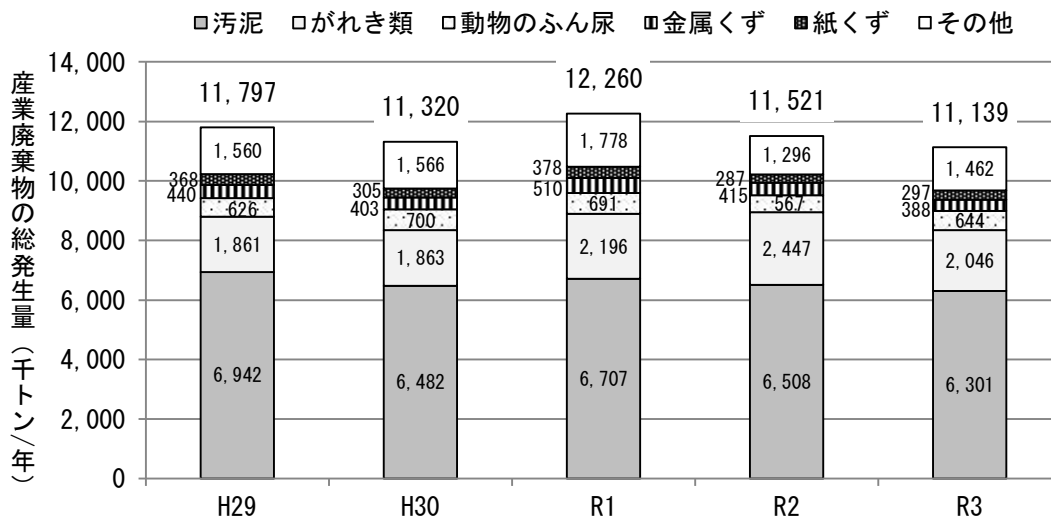


図2.2-1 種類別総発生量の経年変化



表2.2-3 業種別総発生量の経年変化

(単位：千トン/年)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
合計	11,797	11,320	12,260	11,521	11,139
農林漁業	626	702	694	497	648
鉱業	382	2	2	2	2
建設業	2,933	2,909	3,424	3,575	3,203
製造業	2,648	2,793	3,043	2,343	2,450
電気・ガス・水道業	5,002	4,671	4,772	4,878	4,539
情報通信業	0	0	0	0	0
運輸業	30	22	43	20	23
卸・小売業	58	97	123	81	147
医療	50	38	58	0	42
サービス業等	69	85	102	125	84

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

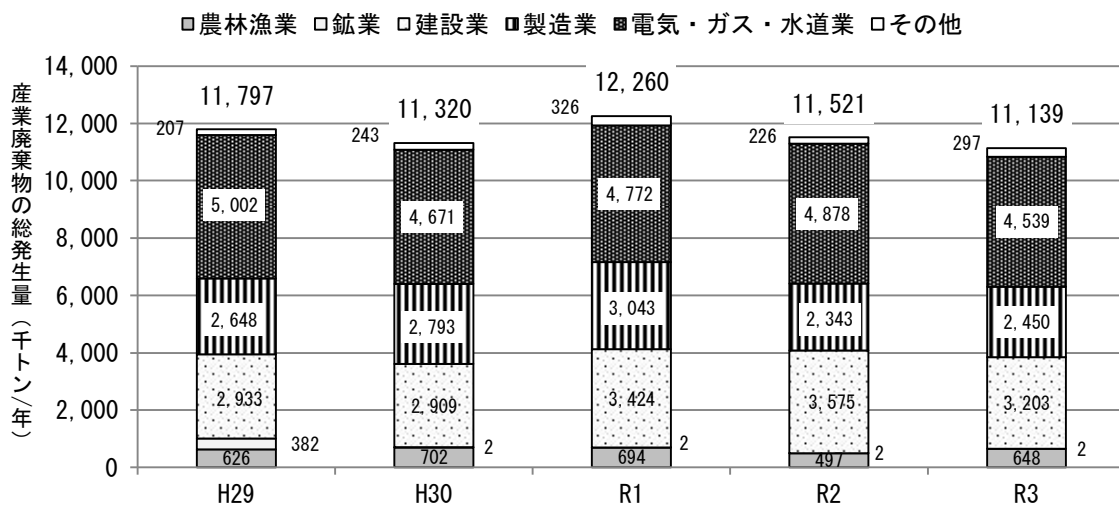


図2.2-2 業種別総発生量の経年変化

## (2) 処理・処分状況

令和3年度の処理・処分状況の推計結果を表2.2-4、図2.2-3に示す。併せて、平成30年度推計結果を表2.2-5、図2.2-4に、業種別の処理処分状況の推計結果を表2.2-6(1)～(7)に示す。

令和3年度の総発生量は11,139千トンであり、処理量の内訳をみると、再資源化量4,832千トン(総発生量比43%)、最終処分量153千トン(総発生量比1.4%)、総減量化量6,153千トン(総発生量比55%)となっている。

また、経年変化(表2.2-7、図2.2-5参照)をみると、平成30年度と比較して総発生量は減少傾向にあるが、再資源化量は増加、最終処分量は減少傾向にあることがわかる。

表2.2-4 産業廃棄物の処理・処分状況（令和3年度推計値：全業種）

（単位：千トン/年）

全業種	総発生量				排出量	発生量					総減量化量			
	①	②	総排出量			③	③'	①'	⑧'	再資源化量		⑪	⑫	
			③	うち脱水減量 a						③-a				②+③'
合計	11,139	596	10,543	5,209	5,334	5,930	945	4,832	4,236	153	1	6,153		
燃え殻	39	0	39		39	39		36	36	2				
汚泥	6,301	1	6,300	5,120	1,181	1,182	685	483	482	14	0	5,805		
廃油	109	10	99		99	109	55	49	39	4	0	55		
廃酸	36	2	34		34	36	16	14	12	6		16		
廃アルカリ	33	0	33		33	33	28	3	3	2		28		
廃プラスチック類	388	46	342		342	388	46	310	264	30	1	46		
紙くず	297	237	60		60	297	12	284	46	1		12		
木くず	240	11	229	1	228	239	6	228	217	5	0	7		
繊維くず	4		4		4	4	0	4	4	0		0		
動植物性残さ	156	44	112	13	98	142	66	76	32	0		79		
動物系固形不要物	1		1		1	1		1	1					
ゴムくず	2	0	2		2	2		2	1	0	0			
金属くず	388	232	156	0	156	388	0	384	152	4	0	0		
ガラスくず・陶磁器くず	268	6	262	3	259	265	4	243	237	18	0	7		
鉢さい	101	0	101		101	101		97	97	4				
がれき類	2,046	2	2,044		2,044	2,046		2,001	1,999	45	0			
動物のふん尿	644		644	72	573	573		573	573			72		
動物の死体														
ばいじん	27	0	27		27	27		27	26	0	0			
政令第十三号廃棄物														
その他（混合廃棄物）	58	4	54		54	58	25	17	13	16	0	25		

※1 四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

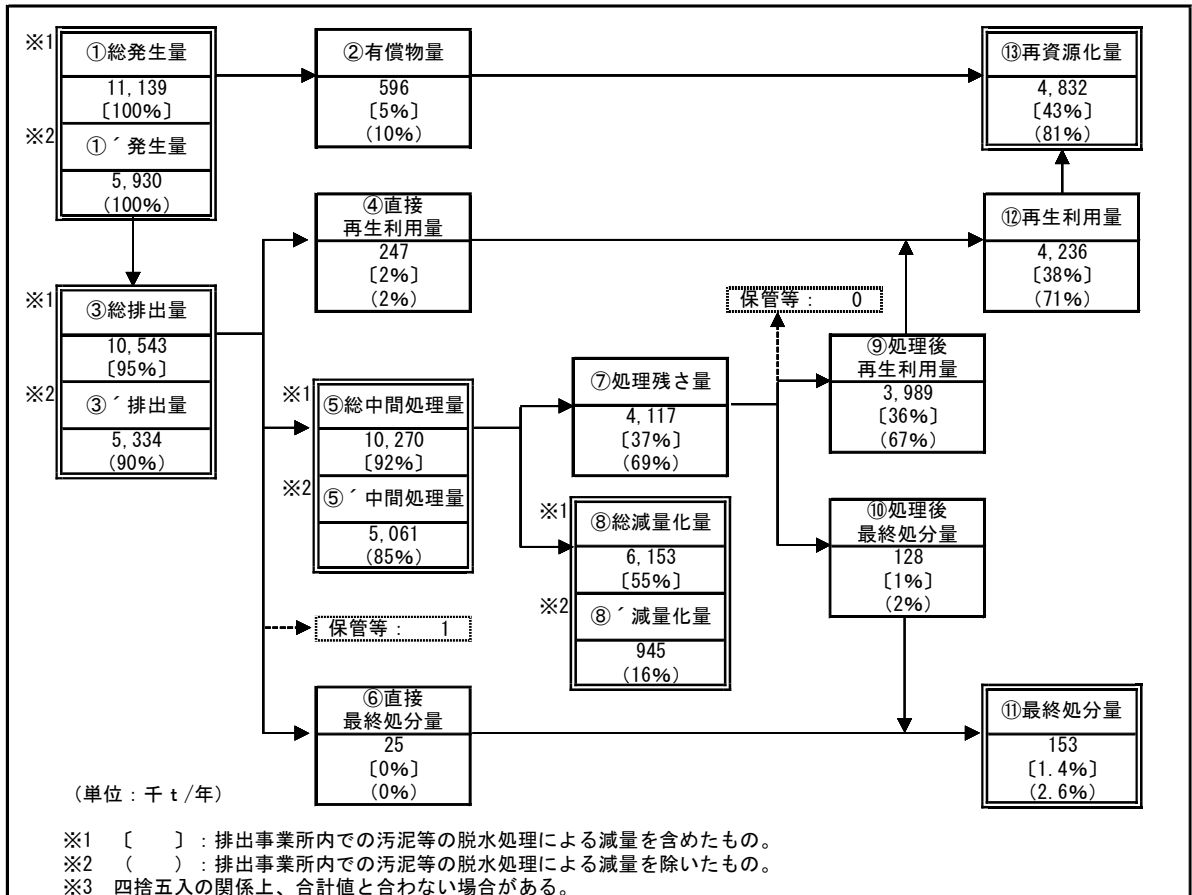


図2.2-3 産業廃棄物の処理・処分状況（令和3年度推計値：全業種）

表2.2-5 産業廃棄物の処理・処分状況（参考 平成30年度実態調査結果：全業種）

（単位：千トン/年）

全業種	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧
	①	有償物量 ②	総排出量			①' 発生量 ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他 保管量	
			③	うち脱水 減量 a				③'	③-a			
合計	11,320	625	10,695	5,456	5,239	5,864	944	4,760	4,135	159	1	6,400
燃え殻	39	0	39		39	39		37	36	3		
汚泥	6,482	1	6,481	5,358	1,123	1,124	646	453	452	25	0	6,004
廃油	118	10	108		108	118	59	55	45	4	0	59
廃酸	38	2	37		37	38	17	17	15	4		17
廃アルカリ	52	1	51		51	52	45	4	3	3		45
廃プラスチック類	387	48	340		340	387	65	288	241	33	1	65
紙くず	305	243	62		62	305	14	290	47	1		14
木くず	226	11	215	1	214	225	6	214	203	5	0	7
繊維くず	4		4		4	4	0	4	4	0		0
動植物性残さ	159	41	118	14	104	145	66	79	38	0		80
動物系固形不燃物	1		1		1	1		1	1			
ゴムくず	2	0	2		2	2		2	2	0	0	
金属くず	403	254	149	0	149	403	0	399	144	5	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	294	6	288	5	283	289	3	270	264	16	0	8
鋳さい	156	0	156		156	156		151	151	5		
がれき類	1,863	2	1,861		1,861	1,863	0	1,823	1,821	40	0	0
動物のふん尿	700		700	78	622	622		622	622			78
動物の死体												
ばいじん	35	0	34		34	35		34	34	0	0	
政令第十三号廃棄物												
その他（混合廃棄物）	54	4	50		50	54	23	16	12	15	0	23

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

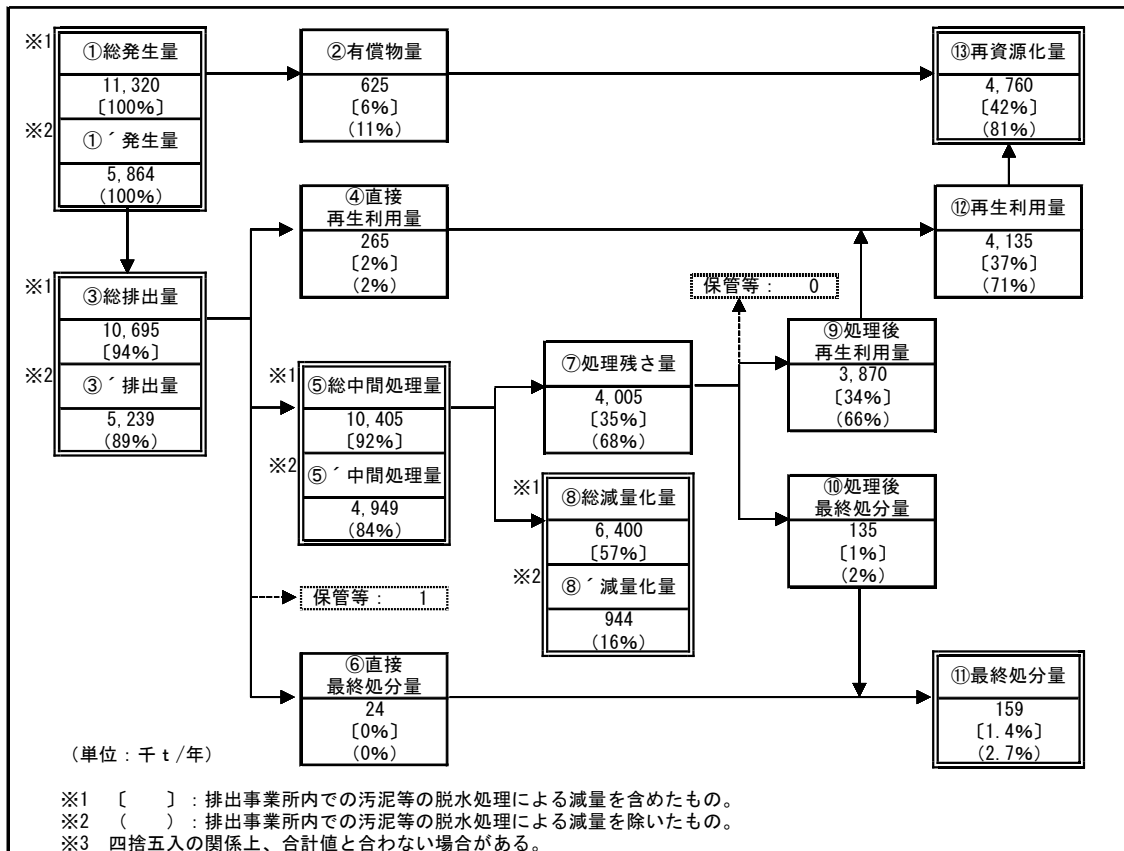


図2.2-4 産業廃棄物の処理・処分状況（参考：平成30年度実態調査結果：全業種）

表2.2-6 (1) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

[A:農林漁業、C:鉱業]

(単位:千トン/年)

A:農林漁業	総発生量				排出量	発生量	減量化量	再資源化量		最終処分量	その他保管量	総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量					③'	⑧'				⑬	⑫
			③	うち脱水減量 a										
合計	648	0	648	72	576	576	0	575	575	0	1	72		
燃え殻	0		0		0	0		0	0					
汚泥														
廃油	0		0		0	0	0			0		0		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	2		2		2	2	0	1	1	0	1	0		
紙くず														
木くず	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず	0		0		0	0				0				
金属くず	1	0	1		1	1		1	1					
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0	0			
鉱さい														
がれき類	0		0		0	0		0	0					
動物のふん尿	644		644	72	573	573		573	573			72		
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)														

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

C:鉱業	総発生量				排出量	発生量	減量化量	再資源化量		最終処分量	その他保管量	総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量					③'	⑧'				⑬	⑫
			③	うち脱水減量 a										
合計	2	0	2		2	2	1	0	0	0	0	1		
燃え殻														
汚泥														
廃油	1		1		1	1	1	0	0		0	1		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
紙くず														
木くず	0		0		0	0		0	0	0				
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず	0		0		0	0		0	0					
金属くず	0	0	0		0	0		0	0					
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0				0				
鉱さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0				

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (2) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

[D:建設業、E:製造業]

(単位:千トン/年)

D:建設業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		⑧'	再資源化量 ⑬	最終処分量 ⑪	その他保管量	⑩		
											③-a	
合計	3,203	9	3,194		3,194	3,203	496	2,626	2,618	81	0	496
燃え殻	1		1		1	1				1		
汚泥	766		766		766	766	484	278	278	4		484
廃油	1		1		1	1	0	0	0	0		0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	1		1		1	1	1	0	0	0		1
廃プラスチック類	55	0	55		55	55	4	43	43	8		4
紙くず	16	0	16		16	16	1	13	13	1		1
木くず	198	4	193		193	198	5	190	186	3		5
繊維くず	3		3		3	3	0	3	3	0		0
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0	0		0	0			
金属くず	54	3	51		51	54	0	54	51	1	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	94		94		94	94		84	84	10		
鉱さい												
がれき類	1,998	1	1,997		1,997	1,998		1,956	1,955	41	0	
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	0		0		0	0				0		
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	16	0	16		16	16		4	4	12		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

E:製造業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		⑧'	再資源化量 ⑬	最終処分量 ⑪	その他保管量	⑩		
											③-a	
合計	2,450	556	1,894	704	1,189	1,746	342	1,351	794	53	0	1,047
燃え殻	38	0	38		38	38		36	36	2		
汚泥	974	1	973	687	286	287	149	131	130	8	0	836
廃油	83	6	77		77	83	43	36	30	4	0	43
廃酸	33	2	32		32	33	14	14	12	6		14
廃アルカリ	26	0	26		26	26	22	3	2	1		22
廃プラスチック類	225	43	181		181	225	31	176	132	18	0	31
紙くず	281	237	44		44	281	11	270	33	0		11
木くず	37	7	30	1	29	36	1	32	26	2	0	2
繊維くず	1		1		1	1	0	1	1	0		0
動植物性残さ	156	44	112	13	98	142	66	76	32	0		79
動物系固形不要物	1		1		1	1		1	1			
ゴムくず	2	0	2		2	2		2	1	0	0	
金属くず	275	207	68	0	68	275		274	67	1	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	155	6	149	3	147	153	4	144	138	4	0	7
鉱さい	101	0	100		100	101		96	96	4		
がれき類	29	1	28		28	29		27	26	1		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	27	0	27		27	27		27	26	0	0	
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	6	2	4		4	6	0	5	3	1	0	0

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (3) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

[F:電気・ガス・水道業、G:情報通信業]

(単位:千トン/年)

F:電気・ガス・水道業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	最終処分量 ⑪	その他保管量	⑧	
			③	うち脱水減量 a								
合計	4,539	0	4,539	4,432	107	107	31	75	75	1	0	4,464
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0		
汚泥	4,531		4,531	4,432	98	98	31	67	67	0	0	4,464
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0		0
紙くず												
木くず	0		0		0	0	0			0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	0	0	0		0	0		0	0	0		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0			
鉱さい												
がれき類	8		8		8	8		8	8	0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0		0	0	0	0	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

G:情報通信業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	最終処分量 ⑪	その他保管量	⑧	
			③	うち脱水減量 a								
合計	0		0		0	0		0	0			
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	0		0		0	0		0	0			
紙くず	0		0		0	0		0	0			
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	0		0		0	0		0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0			
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0			

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (4) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

〔H:運輸業、I:卸・小売業〕

(単位:千トン/年)

H:運輸業	総発生量				排出量	発生量	減量化量	再資源化量		最終処分量	その他保管量	総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a				⑧'	⑬				⑩	⑪
合計	23	3	21	0	21	23	2	19	16	2	0	2		
燃え殻	0		0		0	0		0	0					
汚泥	1		1	0	1	1	1	0	0	0		1		
廃油	1	0	1		1	1	0	1	0	0		0		
廃酸	0		0		0	0	0			0		0		
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
廃プラスチック類	8	0	8		8	8	1	6	6	1		1		
紙くず														
木くず	3		3		3	3	0	3	3	0		0		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	7	2	5		5	7		6	4	0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	2		2		2	2		1	1	0				
鉱さい														
がれき類	1		1		1	1		1	1	0				
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

I:卸・小売業	総発生量				排出量	発生量	減量化量	再資源化量		最終処分量	その他保管量	総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a				⑧'	⑬				⑩	⑪
合計	147	24	123		123	147	12	127	103	8	0	12		
燃え殻														
汚泥	5		5		5	5	3	1	1	1		3		
廃油	10	3	7		7	10	4	7	4	0	0	4		
廃酸	2		2		2	2	2			0		2		
廃アルカリ	3		3		3	3	2	0	0	0		2		
廃プラスチック類	67	2	65		65	67	1	65	63	1	0	1		
紙くず														
木くず	1		1		1	1	0	1	1	0		0		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず	0		0		0	0		0	0					
金属くず	37	18	19		19	37		36	18	1	0			
ガラスくず・陶磁器くず	12	0	12		12	12		10	9	2	0			
鉱さい	1		1		1	1		1	1					
がれき類	5		5		5	5		4	4	2				
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	3	1	2		2	3	0	3	2	0	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。



表2.2-6 (5) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

[K:物品賃貸業、L:学術研究、技術サービス業]

(単位:千トン/年)

K:物品賃貸業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量	⑧
			③	うち脱水減量 a					③-a	②+③'				
合計	16	1	15		15	16	2	13	12	1		2		
燃え殻														
汚泥	3		3		3	3	2	1	1	0		2		
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0		
廃酸														
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0			0		
廃プラスチック類	3		3		3	3	1	2	2	0		1		
紙くず														
木くず	1		1		1	1	0	1	1	0		0		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず	0		0		0	0		0	0					
金属くず	3	0	3		3	3		3	3	0				
ガラスくず・陶磁器くず	0	0	0		0	0		0	0					
鉱さい														
がれき類	5		5		5	5		5	5	0				
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0		0	0					

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

L:学術研究、技術サービス業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量	⑧
			③	うち脱水減量 a					③-a	②+③'				
合計	9	0	9		9	9	3	5	5	1	0	3		
燃え殻	0		0		0	0				0				
汚泥	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0		
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
廃アルカリ	2		2		2	2	2	0	0	0		2		
廃プラスチック類	3	0	3		3	3	0	3	3	0		0		
紙くず														
木くず	0		0		0	0		0	0	0				
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	1	0	1		1	1		1	1	0				
ガラスくず・陶磁器くず	0	0	0		0	0		0	0	0				
鉱さい														
がれき類	0		0		0	0		0	0	0				
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	1	0	1		1	1	1	0	0	0	0	1		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (6) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

[M: 飲食業、N: 生活関連サービス業]

(単位: 千トン/年)

M: 飲食業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量 ⑧ a+⑧'		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生利用量 ⑫		最終処分量 ⑪	その他保管量
合計	23	0	23		23	23	14	8	8	1		14	
燃え殻													
汚泥	17		17		17	17	13	3	3	0		13	
廃油	4	0	4		4	4	0	4	4	0		0	
廃酸													
廃アルカリ													
廃プラスチック類	2		2		2	2	1	0	0	0		1	
紙くず													
木くず													
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	0		0		0	0		0	0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0				
鉱さい													
がれき類													
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0			

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位: 千トン/年)

N: 生活関連サービス業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量 ⑧ a+⑧'		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		③'	①'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生利用量 ⑫		最終処分量 ⑪	その他保管量
合計	8	0	8		8	8	2	5	5	0		2	
燃え殻	0		0		0	0		0	0				
汚泥	3		3		3	3	1	2	2	0		1	
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃酸													
廃アルカリ													
廃プラスチック類	5	0	5		5	5	1	3	3	0		1	
紙くず													
木くず	0		0		0	0	0	0	0			0	
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	0		0		0	0		0	0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0				
鉱さい													
がれき類													
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0		0	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (7) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和3年度推計値)

[P:医療、R:サービス業 (他に分類されないもの)]

(単位:千トン/年)

P:医療	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量	
			③	うち脱水減量 a				⑬	うち再生利用量 ⑫			
合計	42	0	42		42	30	8	8	3	0	30	
燃え殻	0		0		0		0	0	0			
汚泥	1		1		1	1	0	0	0		1	
廃油	0		0		0	0	0	0	0		0	
廃酸	0		0		0	0	0	0	0		0	
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0		0	
廃プラスチック類	7	0	7		7	5	1	1	1		5	
紙くず												
木くず	0		0		0		0	0				
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0		0	0	0			
金属くず	2	0	2		2		2	2	0			
ガラスくず・陶磁器くず	3	0	3		3		3	3	0			
鉱さい												
がれき類	0		0		0				0			
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	28	0	28		28	24	1	1	2	0	24	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千トン/年)

R:サービス業 (他に分類されないもの)	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量	
			③	うち脱水減量 a				⑬	うち再生利用量 ⑫			
合計	28	2	25	0	25	7	19	17	2	0	7	
燃え殻												
汚泥	2		2	0	1	1	0	0	0	0	1	
廃油	7	1	6		6	6	1	1	0		6	
廃酸												
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0		0	
廃プラスチック類	9	0	9		9	0	9	9	1		0	
紙くず												
木くず	0		0		0		0	0	0			
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物	0		0		0		0	0				
ゴムくず												
金属くず	6	1	5		5	6	6	5	0			
ガラスくず・陶磁器くず	1		1		1	1	0	0	1	0		
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	3	1	2		2	3	3	2	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-7 産業廃棄物の処理・処分状況の経年変化

(単位：千トン/年)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
①総発生量	11,797	11,320	12,260	11,521	11,139
②総排出量	11,197	10,695	11,477	10,937	10,543
③再資源化量	4,872	4,760	5,487	4,491	4,832
④減量化量	6,748	6,400	6,579	6,557	6,153
⑤最終処分量	168	159	193	143	153
(最終処分率)	1.5	1.5	1.7	1.3	1.4
⑥その他量	9	1	1	1	1

※最終処分率は、⑤÷②とした。(P16の最終処分率は、⑤÷①である。)

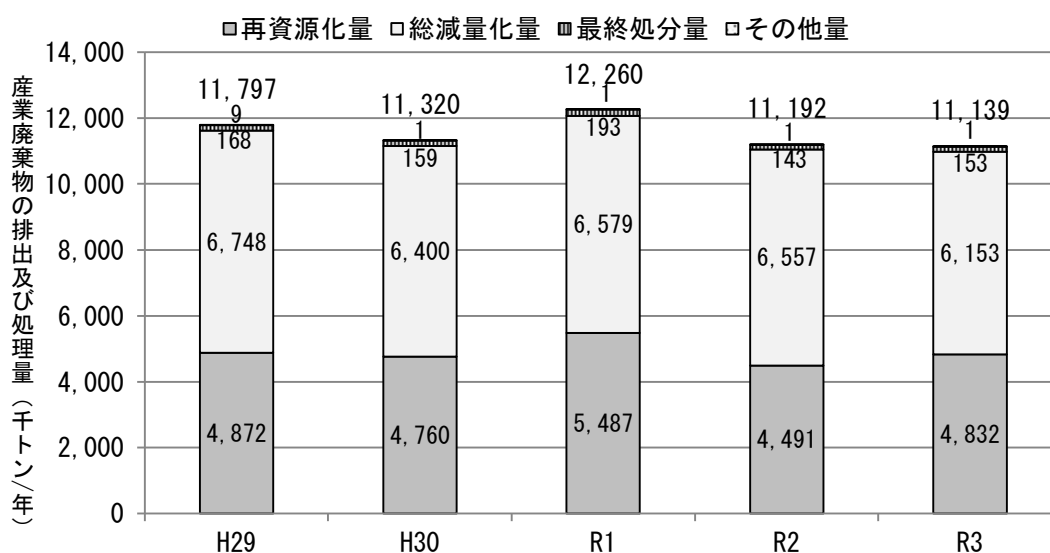


図2.2-5 産業廃棄物の処理・処分状況の経年変化

### 第3章 行政報告の入力、整理

#### 3.1 産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力、整理

##### (1) 電子化した項目

電子化した情報は、報告者名称（許可番号も含む）、委託者名、委託者事業種分類、委託者地域コード、種類、受託量、処分量、処分後量、処分方法、処分地域コード、処分後の委託内容等とした。

なお、電子化に当たっては、(2)に記す解析内容を行えるように考慮した。

表3.1-1 電子化した項目

報告書の内容	電子化する項目	数 量
①様式19号(2) 〔産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書〕	①報告者名称（許可番号も含む）②委託者名（特別管理産業廃棄物に限る）③委託者事業種分類 ④委託者地域コード ⑤種類 ⑥受託量 ⑦処分量 ⑧処分後量 ⑨処分方法 ⑩処分地域コード ⑪処分後の委託内容 等	入力件数：約267件 データ数：約776,479レコード (電子データ含む)
②様式2号の9 ③様式2号の14 ④様式4号 ⑤様式4号の2 〔産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処理計画実施状況報告書〕	①報告者名称 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④事業の種類 ⑤発生量の目標 ⑥計画の実施状況（発生量、自己直接再生利用量等）等	(合計) 入力件数：約449件 データ数：約2,715レコード

※1 ①様式19号(2)の⑤種類について、報告書の記入欄にカッコ書きで「含石綿」と記入されたものは、石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）であり、これを分かるように区別して入力した。

##### (2) 解析項目

電子化したデータについては、以下の項目に従って解析を実施した。

表3.1-2 解析項目

解 析 内 容	解 析 情 報
①県内産業廃棄物処理施設での品目別、処理方法別処理量	様式19号(2)により整理
②産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量	〃
※石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）を区別	
③特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量	〃
④産業廃棄物の県内処分業者の品目別中間処分量	〃
⑤産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	〃
⑥特別管理産業廃棄物の県内処分業者の品目別中間処分量	〃
⑦特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	〃
⑧多量排出事業者の発生量及び処理状況	様式第2号の9、様式第2号の14、様式4号及び様式第4号の2により整理

※1 石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）の運搬量は処理実績報告書から把握した。

※2 報告者数は、名称から組合せを行い整理した。

※3 廃棄物等量のうち、数量が容積等の場合は、品目別重量換算係数を用いて単位をt（トン）に統一した。

(3) 整理結果

① 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書（以下、「実績報告書」とする。）

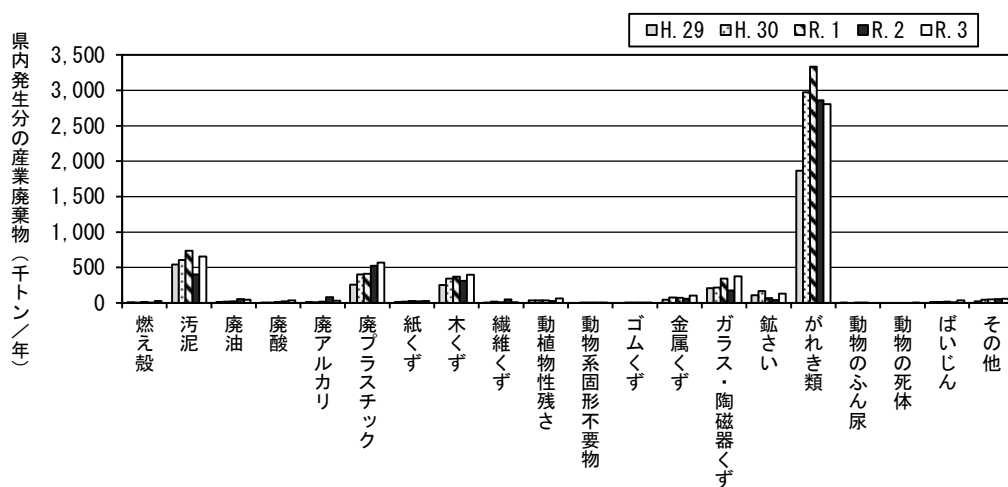
実績報告書（さいたま市、川越市、川口市、越谷市含む）から整理した埼玉県内排出量（令和3年度実績）を整理した結果は、表3.1-3、図3.1-1に示すとおりである。併せて、過年度からの経年変化を示している。また、各種行政報告では、廃棄物の数量をトン又はm<sup>3</sup>で記入することになっている。m<sup>3</sup>で記入された数量を表3.1-4に示す換算係数を用いて重量（トン）に換算した。

埼玉県内排出量（令和3年度実績）は、令和2年度と比較し約14%増加している。

表3.1-3 実績報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

（単位：トン/年）

実績年度	H.29	H.30	R.1	R.2	R.3
合計	3,395,424	4,941,084	5,530,805	4,699,996	5,363,975
燃え殻	7,603	3,865	14,100	6,134	25,053
汚泥	540,690	605,094	732,704	400,142	656,761
廃油	11,490	17,229	20,047	53,953	47,207
廃酸	3,169	1,807	13,470	23,047	34,685
廃アルカリ	15,053	7,495	16,645	83,780	29,177
廃プラスチック類	258,483	402,098	409,604	524,617	569,447
紙くず	13,373	17,252	24,059	23,291	26,345
木くず	248,632	342,603	371,227	311,470	397,074
繊維くず	6,329	16,211	7,993	49,840	7,489
動植物性残さ	32,593	38,677	38,841	24,031	62,802
動物系固形不要物	0	1,841	1,062	107	1,225
ゴムくず	0	198	1,760	190	40
金属くず	44,514	75,778	71,055	58,417	103,143
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	206,197	215,993	343,707	178,823	375,404
鉱さい	107,705	168,577	64,399	42,321	130,708
がれき類	1,864,537	2,967,991	3,333,185	2,857,422	2,803,837
動物のふん尿	2	0	13	5	0
動物の死体	1	1	1	1	2
ばいじん	13,286	11,996	16,480	7,497	33,338
その他（混合廃棄物など）	21,766	46,378	50,450	54,908	60,240



注）全年度、埼玉県、さいたま市、川越市、川口市、越谷市のデータとなっている。

図3.1-1 実績報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

表3. 1-4 品目別重量換算係数

Code	廃棄物種類	換算係数 (トン/m <sup>3</sup> )	Code	廃棄物種類	換算係数 (トン/m <sup>3</sup> )		
1	燃え殻	1.14	特別管理産業廃棄物 特定有害産業廃棄物	B1	廃油	0.90	
2	汚泥	1.10		B2	廃酸	1.25	
3	廃油	0.90		B3	廃アルカリ	1.13	
4	廃酸	1.25		B4	感染性廃棄物	0.30	
5	廃アルカリ	1.13		C1	廃PCB等	1.00	
6	廃プラスチック類	0.35			C2	廃PCB汚染物	1.00
7	紙くず	0.30			C3	廃PCB処理物	1.00
8	木くず	0.55			C4	指定下水汚泥等	1.10
9	繊維くず	0.12			D2	鉱さい	1.93
10	動植物性残さ	1.00			D3	廃石綿等	0.30
11	動物系固形不要物	1.00			D4	ばいじん	1.26
12	ゴムくず	0.52			D5	燃え殻	1.14
13	金属くず	1.13			D6	廃油	0.90
14	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1.00			D7	汚泥	1.10
15	鉱さい	1.93		D8	廃酸	1.25	
16	がれき類	1.48		D9	廃アルカリ	1.13	
17	動物のふん尿	1.00		D10	廃水銀等	13.57	
18	動物の死体	1.00					
19	ばいじん	1.26					
20	政令第十三号廃棄物	1.00					

※廃棄物量のうち、数量が容積の場合は品目別重量換算係数を用い、単位をトンに統一した。

② 産業廃棄物処理計画実施状況報告書（以下、「多量排出報告書」とする。）

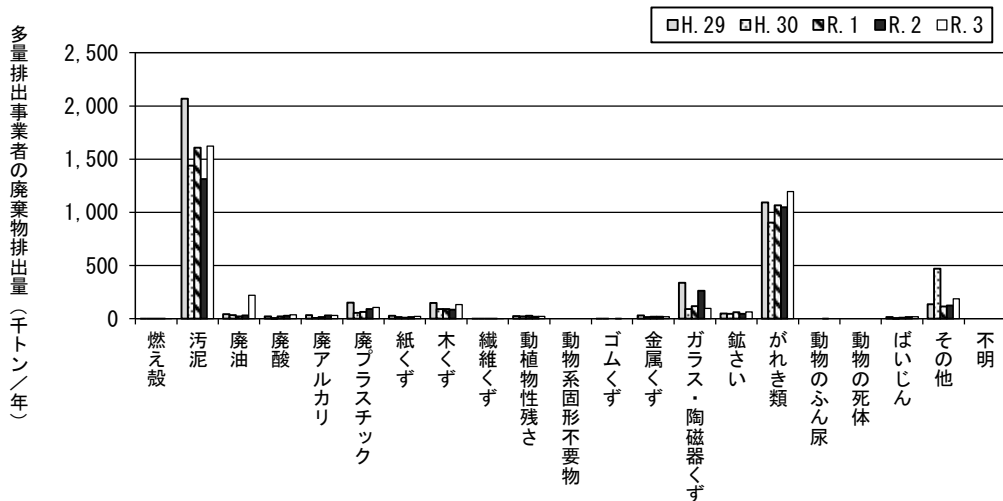
多量排出報告書から整理した排出量（令和3年度実績）の結果は、表3.1-5、図3.1-2に示すとおりである。併せて、過年度からの経年変化を示している。

埼玉県内（川口市を除く）排出量（令和3年度実績）は、令和2年度と比較し約21%増加している。

表3.1-5 多量排出報告書から整理した排出量（実績）

（単位：トン/年）

実績年度	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2	R. 3
合計	4,176,360	3,204,476	3,246,187	3,128,387	3,775,000
燃え殻	2,603	167	321	2,132	245
汚泥	2,068,017	1,438,773	1,606,792	1,312,589	1,621,149
廃油	42,421	34,095	20,275	28,913	219,466
廃酸	21,487	4,725	20,994	25,590	38,781
廃アルカリ	34,634	8,822	17,023	28,980	28,234
廃プラスチック類	150,615	54,408	65,987	90,710	106,870
紙くず	25,554	16,411	10,130	15,795	20,695
木くず	148,172	88,519	89,851	85,276	134,235
繊維くず	1,157	1,152	1,369	689	1,269
動植物性残さ	23,938	21,117	25,989	18,577	21,051
動物系固形不要物					
ゴムくず	1	2	1	175	
金属くず	28,773	15,735	17,803	19,606	17,509
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	338,794	93,145	115,691	261,800	98,561
鉱さい	47,939	47,056	61,594	47,187	65,518
がれき類	1,091,160	904,855	1,065,854	1,047,187	1,192,615
動物のふん尿				2	
動物の死体					
ばいじん	15,646	6,007	11,673	16,722	19,606
その他（混合廃棄物など）	135,450	469,486	114,841	126,456	189,197
不明					



注）平成29年度、令和2年度は川口市、越谷市を除くデータ、平成30年度は川口市、越谷市、川越市の除くデータ、令和元年度は越谷市を除くデータ、令和3年度は川口市を除くデータとなっている。

図3.1-2 多量排出報告書から整理した排出量（実績）



### 3.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書データの入力、整理

#### (1) 電子化する項目

電子化する情報は、産業廃棄物管理票交付等状況報告書（様式第3号、以下「マニフェスト報告書」とする。）に基づき、報告者（住所、氏名）、業種、事業場の所在地（市町村）、廃棄物の種類、排出量（トン）、管理票の交付枚数等とした。

表3.2-1 電子化する項目

電子化する項目	数 量
①報告者（住所、氏名） ②業種 ③事業場の所在地（市町村） ④廃棄物の種類 ⑤排出量（t） ⑥管理票の交付枚数 ⑦運搬受託者の許可番号 ⑧運搬受託者の氏名又は名称 ⑨運搬先の住所（都道府県市町村） ⑩処分受託者の許可番号 ⑪処分受託者の氏名又は名称 ⑫処分場所の住所（都道府県市町村） ⑬環境管理事務所	様式第3号 入力件数：約10,037件 データ数：約41,591レコード （電子マニフェスト： 約1,091,182レコード）

※1 電子マニフェスト登録状況報告のデータもあわせて整理した。

#### (2) 一覧表の作成

電子化したデータについては、以下の項目に従って解析を実施した。

表3.2-2 解析内容

解 析 内 容	解析情報
①産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	産業廃棄物管理票交付等状況報告書（様式第3号）
②産業廃棄物の種類別・業種別の交付枚数、排出状況	
③産業廃棄物の地域間移動状況	

(3) 整理結果

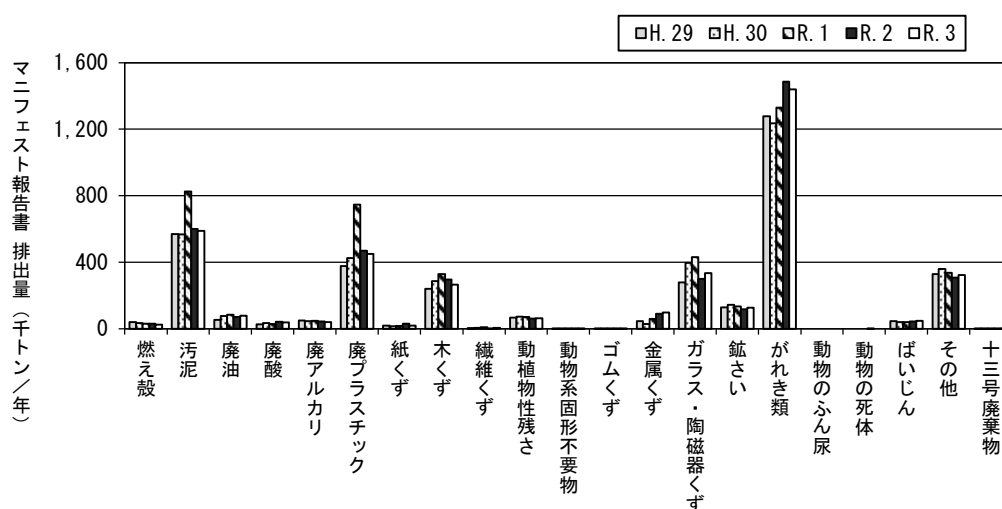
マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（令和3年度実績）の結果は、表3.2-3、図3.2-1に示すとおりである。（詳細は、別冊「令和4年度 埼玉県産業廃棄物管理票交付等状況報告書 業務報告書」に示す。）併せて、過年度からの経年変化を示している。

埼玉県内（さいたま市、川越市、川口市、越谷市を除く）排出量（令和3年度実績）は、令和2年度と比較し約1%減少している。

表3.2-3 マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

（単位：トン/年）

実績年度	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2	R. 3
合計	3,559,315	3,769,832	4,516,002	3,992,310	3,944,568
燃え殻	40,574	34,227	29,912	30,544	25,703
汚泥	568,324	567,217	824,764	599,473	587,217
廃油	55,391	76,939	83,805	69,803	79,666
廃酸	27,276	33,529	28,144	42,345	38,996
廃アルカリ	49,298	46,057	47,653	43,956	41,287
廃プラスチック類	377,550	424,245	745,422	469,371	448,391
紙くず	19,811	15,389	16,637	30,364	17,429
木くず	240,022	285,826	328,385	296,775	264,150
繊維くず	4,992	6,065	9,525	3,300	5,631
動植物性残さ	67,408	73,594	70,823	61,591	64,062
動物系固形不要物	1,156	1,516	1,417	1,021	1,326
ゴムくず	42	31	67	56	57
金属くず	45,881	28,357	60,000	89,979	98,798
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	278,089	396,753	429,579	299,395	335,054
鉱さい	130,249	145,850	133,775	117,344	125,771
がれき類	1,277,356	1,234,595	1,328,040	1,483,800	1,438,987
動物のふん尿					
動物の死体		0		77	
ばいじん	46,461	41,153	41,387	43,909	46,873
その他（混合廃棄物など）	329,403	358,408	335,881	309,169	324,489
政令第十三号廃棄物	33	81	784	39	681



注) 全年度さいたま市、川越市、川口市、越谷市を除くデータとなっている。

図3.2-1 マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

## 資 料 編

### 留意点

資料編においては、県へ報告された実績報告書の内容について整理したものであり、さいたま市、川越市、川口市及び越谷市は県外として取り扱っている。



## 1. 県内産業廃棄物処理施設での品目別及び処理方法別の処分量

### (1) 県内産業廃棄物処理施設での品目別処分量

県内における産業廃棄物処理実績（令和3年度実績）を整理すると図-1、表-1のとおりである。

年間処分量は9,538千トンであり、品目別ではがれき類が4,197千トンで最も多く、次いで汚泥が2,521千トンとなっている。

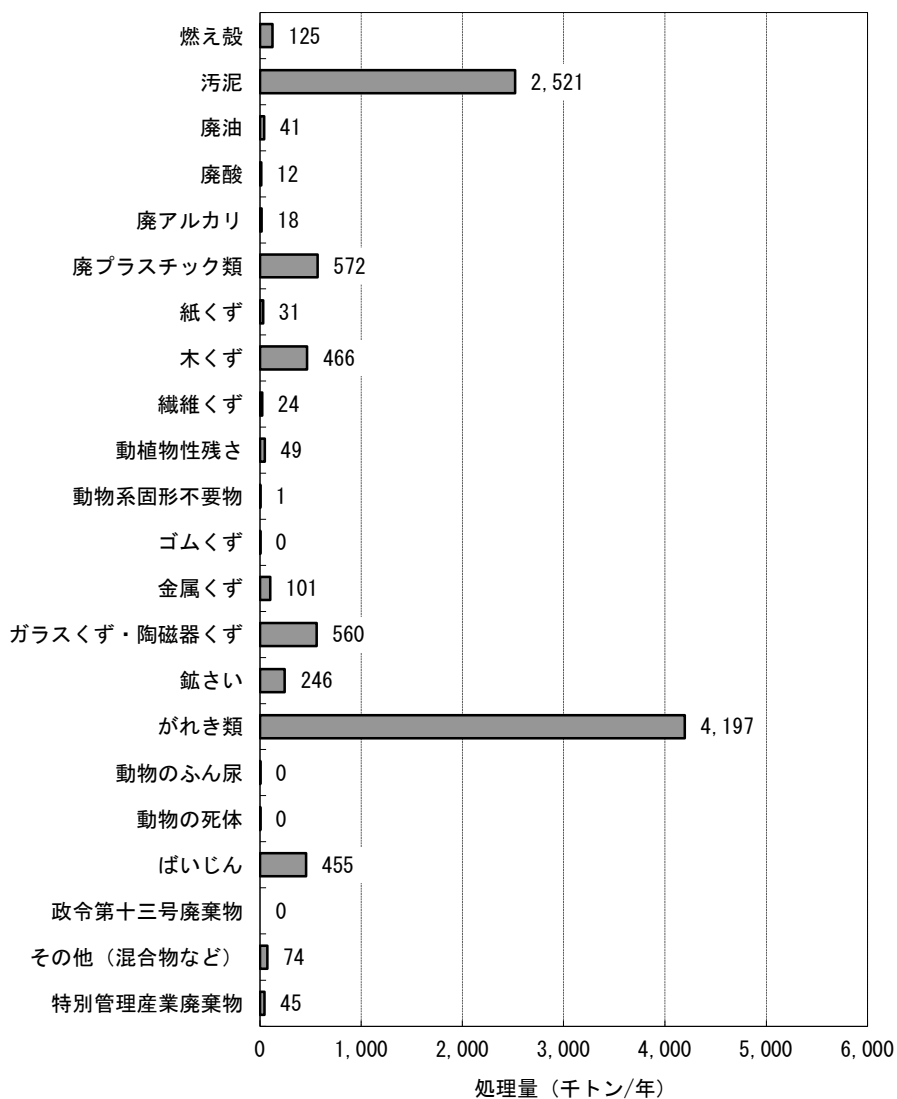


図-1 県内産業廃棄物処理施設での品目別処理量

表-1 県内産業廃棄物処理施設での品目別処理量

(単位：トン/年)

種類	区分	処理量		
		中間処理	最終処分	
産業廃棄物	燃え殻	125,313	123,144	2,169
	汚泥	2,520,804	2,520,804	
	廃油	41,122	41,121	0
	廃酸	12,360	12,360	
	廃アルカリ	18,257	18,257	
	廃プラスチック類	571,566	562,806	8,760
	紙くず	31,226	31,226	
	木くず	466,036	466,036	
	繊維くず	23,868	23,868	
	動植物性残さ	49,306	49,306	
	動物系固形不要物	873	873	
	ゴムくず	24	24	
	金属くず	100,656	100,656	
	ガラス・陶磁器くず	559,673	558,674	999
	鋳さい	245,694	245,694	
	がれき類	4,197,075	4,197,075	
	動物のふん尿	92	92	
	動物の死体	2	2	
	ばいじん	455,084	455,084	
	政令第十三号廃棄物 その他（混合物など）	73,640	73,563	77
	小計	9,492,671	9,480,666	12,005
特別管理産業廃棄物	廃油	15,047	15,047	
	廃酸	4,410	4,410	
	廃アルカリ	388	388	
	感染性廃棄物	25,414	25,414	
	特定有害産業廃棄物			
	廃PCB等			
	廃PCB汚染物			
	廃PCB処理物			
	指定下水汚泥等			
	鋳さい			
	廃石綿等			
	ばいじん			
	燃え殻			
	廃油	102	102	
	汚泥	10	10	
廃酸	103	103		
廃アルカリ				
廃水銀等				
その他				
小計	45,475	45,475		
合計	9,538,146	9,526,140	12,005	

## (2) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処分量

県内における産業廃棄物処理実績（令和3年度実績）を品目別・処理方法別に整理すると図-2、表-2(1)～(4)の通りである。

### ① 中間処理量

県内における中間処理量9,526千トンを処理方法別に整理すると図-2のとおりであり、破碎系（選別、圧縮、梱包等を含む）が最も多く、次いで固形化、焼成、脱水系となっている。

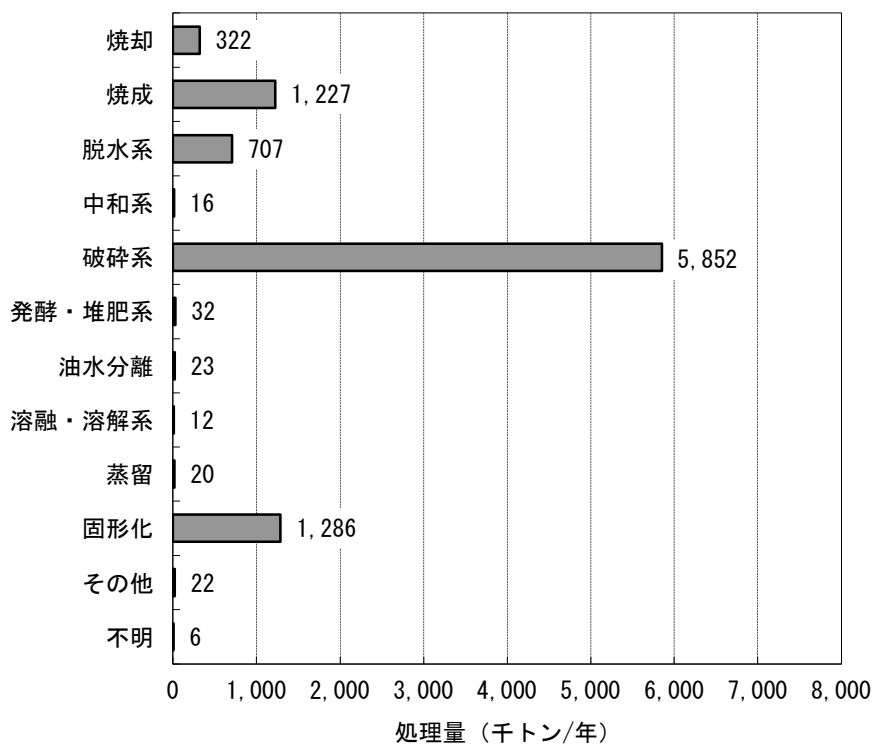


図-2 処理方法別中間処理量

### ② 最終処分量

県内における最終処分量は12千トンとなっており、その約73%が廃プラスチック類である。

表-2 (1) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法 廃棄物種類	合計	01：焼却				02：焼成		03：脱水系					小計	
		焼却	焼却・溶融	蒸留・焼却	脱水・焼却	小計	焼成	小計	乾燥	凝集沈殿・脱水	高度脱水	脱水		脱水固化
燃え殻	9,538,146	250,852	69,132	1,547	849	322,380	1,227,158	1,227,158	19,164	77,495	108,690	499,169	2,514	707,031
汚泥	125,313	0	547	0	0	547	121,729	121,729	0	0	0	0	0	0
廃油	2,520,804	44,516	15,094	0	849	60,459	446,674	446,674	12,719	77,493	108,690	497,475	2,514	698,890
廃酸	41,122	4,656	0	0	0	4,656	0	0	0	0	0	0	0	0
廃鹼	12,360	3,983	775	0	0	4,758	2,889	2,889	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	18,257	6,919	414	0	0	7,333	1,242	1,242	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	571,566	134,820	46,645	0	0	181,465	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	31,226	3,154	30	0	0	3,184	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	466,036	8,621	2	0	0	8,623	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	23,868	261	2	0	0	264	0	0	0	0	0	0	0	0
産業動植物性残さ	49,306	17,225	4,607	0	0	21,832	0	0	6,445	0	0	1,691	0	8,136
廃動物系固形不要物	873	21	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	100,656	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
ガラス・陶磁器くず	559,673	0	1,015	0	0	1,015	59,173	59,173	0	0	0	0	0	0
珪さ	245,694	0	0	0	0	0	128,479	128,479	0	0	0	0	0	0
かたき類	4,197,075	804	0	0	0	804	15,354	15,354	0	0	0	4	0	4
動物のふん尿	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	455,084	0	0	0	0	0	451,618	451,618	0	0	0	0	0	0
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	73,640	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	15,047	447	0	1,547	0	1,995	0	0	0	0	0	0	0	0
強酸	4,410	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	388	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	25,414	25,414	0	0	0	25,414	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	102	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



表-2 (2) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

廃棄物種類	04：中和系			05：破砕系								選別			
	処理方法	中和	中和・高温酸化	中和・脱水	小計	圧縮	圧縮・減容	圧縮・梱包	圧縮・梱包・溶融・破	減容	梱包		切断	切断・圧縮	切断・破砕
		15,822	0	0											
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	1,279	0	0	0	1,279	14	0	0	0	0	0	0	141	0	
廃酸	4,672	0	0	0	4,672	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	8,954	0	0	0	8,954	0	0	0	0	0	0	522	0	0	
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	24,427	17	48,891	4,057	1,195	96	4,468	148	86	
紙くず	0	0	0	0	0	993	0	12,995	0	0	0	0	0	0	
木くず	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	2,911	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	39	0	68	0	0	0	663	0	0	
産業動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃薬物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	5	0	0	0	5	12,806	0	1,438	0	0	0	11,290	2,392	2,650	
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	232	0	6	0	0	0	2,000	22	19	
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	2,092	0	0	
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
はいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
強酸	423	0	0	0	423	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
強アルカリ	385	0	0	0	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有価さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	103	0	0	0	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表-2 (3) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

廃棄物種類	処理方法	05：破砕系										06：発酵・堆肥系		07：油水分離			
		破砕	破砕・圧縮	破砕・圧縮・梱包	破砕・減容	破砕・梱包・圧縮	破砕・混合	破砕・再生	破砕・選別	破砕・造粒・成型・圧延	小計	発酵	小計	油水分離	小計		
																5,609,466	19,596
燃え殻		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥		4,571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ		30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類		221,054	8,010	25,890	35,636	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18	2
紙くず		8,804	7	3,638	1,545	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず		447,706	625	3,894	1,405	0	0	691	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず		17,721	125	61	646	0	0	0	0	4,282	0	0	0	0	0	0	0
産業動植物性残さ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃動物系固形不要物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,260	19,260	0
廃業物		24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	852	852	0
金属くず		59,107	3,582	1,180	5,315	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず		486,564	5,822	117	1,060	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい		116,766	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類		4,170,499	1,424	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿		92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん		3,175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第十三号廃棄物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)		73,345	0	5	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強酸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB処理物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定指定下水汚泥等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
害石綿等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5,609,466	19,596	34,791	45,727	0	4,282	691	0	303	5,851,583	31,947	31,947	23,384	23,384	0	23,384

表-2 (4) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法 廃棄物種類	08：溶融・溶解系				09：蒸留		10：固形化				11：その他			
	加熱	熱解砕	溶融	溶融減容	小計	蒸留	小計	コンクリート固形化	セメント固形化	混練固形化	造粒固形化	小計	ろ過	加水（混練）
概ね被	0	0	0	0	0	0	0	69	701	94	0	864	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	7,843	21,555	1,424	1,250,899	1,281,722	0	0
廃油	469	0	0	0	469	6,763	6,763	0	0	2,480	0	2,480	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	118	5,917	6,035	22	22	0	0	79	0	79	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物植物性残さ	77	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃動物系固形不燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	160	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
珪藻土	0	0	0	0	0	0	0	132	0	15	0	147	0	0
がれき類	0	4,798	0	0	4,798	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	214	0	76	0	291	0	0
政令第十三号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	13,017	13,017	0	0	0	0	0	0	0
強酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有価物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石膏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃業燐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃業燐	0	0	0	0	0	101	101	0	0	0	0	101	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃業汚泥	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	0	0
廃業物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (5) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：トン/年)

処理方法	11：その他											小計	15：中間処理不明	21：埋立	30：売却
	混合	再生	煮沸	水銀加熱	調質改良	濃縮	分解・精製								
廃棄物種類	118	4,083	0	776	16,736	173	499	22,385	5,755	12,005	1,662				
合計															
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	0	0	0	0	16,736	0	0	16,736	0	0	0	0	0	0	
廃油	118	0	0	0	0	1	499	618	1,338	0	0	0	0	0	
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0	0	0	0	0	171	0	171	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	0	95	0	13	0	0	0	108	486	8,760	614	0	0	0	
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	
木くず	0	0	0	0	0	1	0	1	173	0	0	0	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	0	4	0	13	0	0	0	17	0	0	0	0	0	705	
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	751	0	0	0	751	1,609	999	284	0	0	0	
プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ぬき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
政令第十三号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	63	77	0	0	0	0	
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
強酸	0	3,983	0	0	0	0	0	3,983	0	0	0	0	0	0	
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有害物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 2. 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量

(県内処分量、県外運搬量)

県内の特別管理産業廃棄物の処分実績及び産業廃棄物管理票交付等状況報告書から算出した年間排出量を整理すると図-3、表-3のとおりである。

マニフェスト報告書から算出した排出量は99千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、次いで引火性廃油となっている。

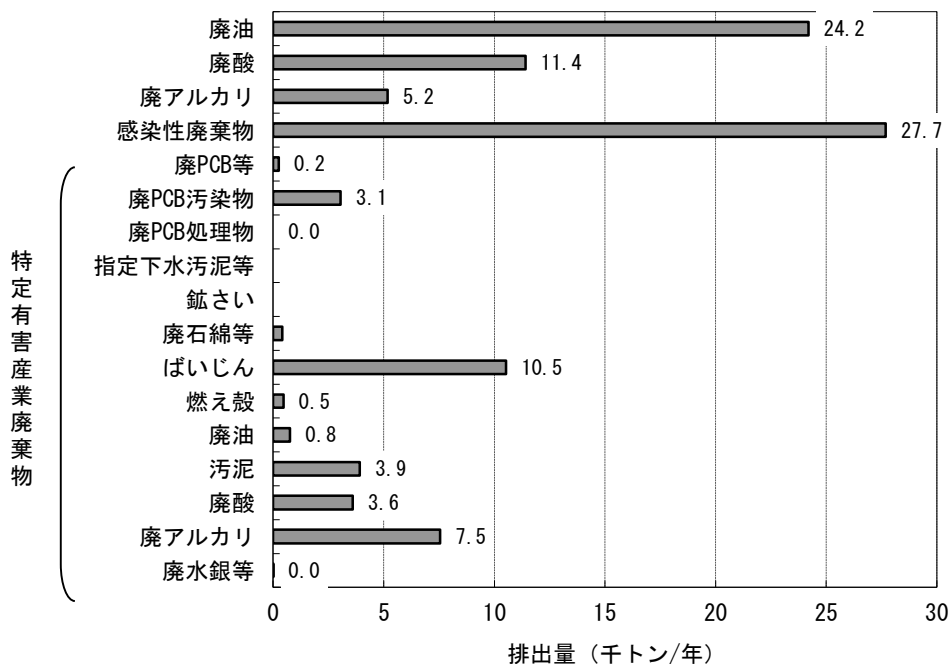


図-3 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量、県内処分量、県外運搬量

表-3 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量、県内処分量、県外運搬量

(単位：トン/年)

		排出量	県内処分量	県外運搬量
合 計		98,981	31,575	67,406
特別管理産業廃棄物	廃油	24,197	4,032	20,165
	廃酸	11,407	5,383	6,024
	廃アルカリ	5,173	1,689	3,484
	感染性廃棄物	27,688	15,808	11,880
	廃PCB等	244	1	243
	廃PCB汚染物	3,054	1,245	1,809
	廃PCB処理物			
	指定下水汚泥等			
	鉍さい			
	廃石綿等	414	15	399
	ばいじん	10,522	8	10,513
	燃え殻	467	24	443
	廃油	764	292	472
	汚泥	3,920	23	3,897
	廃酸	3,594	2,302	1,292
廃アルカリ	7,536	752	6,785	
廃水銀等	3	1	1	

### 3. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内・県外別、 運搬先別、品目別運搬量

#### (1) 県外から県内への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県外から県内への運搬量を整理すると図-4、表-4のとおりである。

県外から県内への運搬量は6,143千トンであり、品目別ではがれき類が最も多く、運搬元では東京都が最も多くなっている。

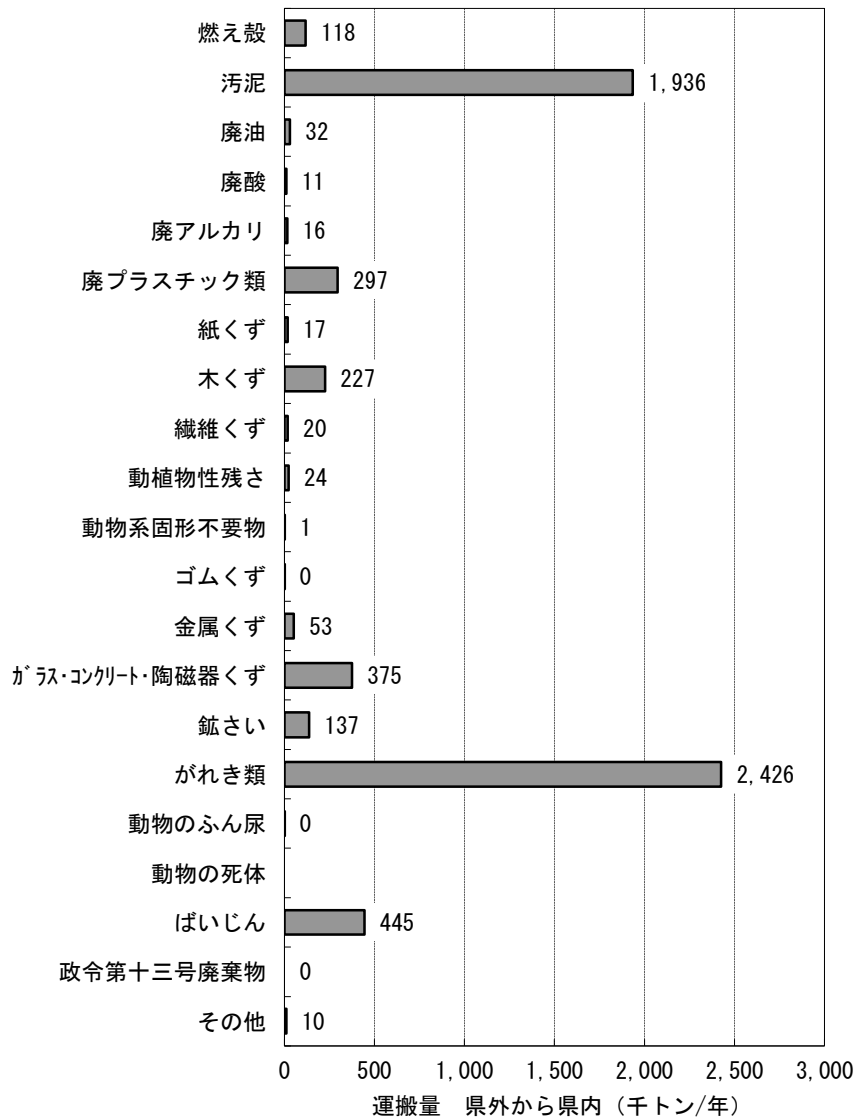


図-4 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内へ品目別運搬量

## (2) 県内から県外への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県内から県外への運搬量を整理すると図-5、表-5のとおりである。

県内から県外への運搬量は1,826千トンであり、品目別ではがれき類が最も多く、運搬先では栃木県が最も多くなっている。

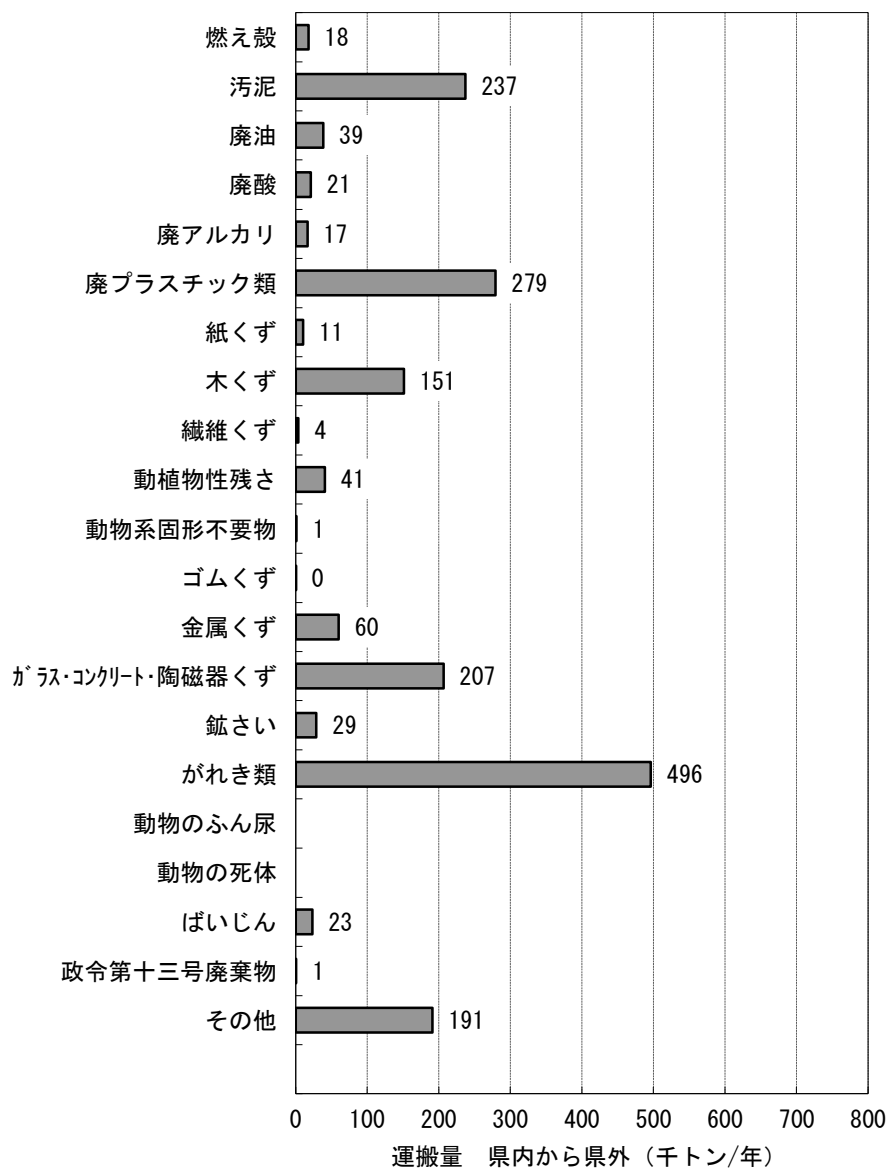


図-5 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県外へ品目別運搬量

### (3) 県内から県内への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県内から県内への運搬量を整理すると図-6、表-6のとおりである。

県内から県内への運搬量は2,569千トンであり、品目別ではがれき類が最も多くなっている。



図-6 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県内へ品目別運搬量



表-4 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	合計	産業廃棄物														政令第十四号廃棄物	その他														
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性廃棄物	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リサイクル品			びん	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん									
北海道	567		101	4							81	1	47	0			19	16	300												
青森県	7									4																					
岩手県	2,651		4										1																		
宮城県	5,289		58	4						1,491	113	1	88	5			16	2	46												
秋田県	5										1		3																		
山形県	640									77	1	1					3	555													
福島県	150,192		20,933	798	20					300	1,918	64	728	24	25		222	3,553	23,318	991											
茨城県	400,759		32,118	180,863	4,278	2,719	1,822	16,960	444	7,472	84	8,333	84	8,333	44		1,924	8,692	18,834	8,802											
栃木県	127,647		1,581	57,712	1,352	2,454	2,022	21,225	870	4,032	44	597	44	597	44		2,514	8,815	18,122	5,238											
群馬県	281,929		9,936	137,289	3,156	1,112	1,377	54,979	220	7,271	347	7,490	220	7,490	4		1,832	11,579	14,434	37,661											
千葉県	565,904		9,768	333,763	3,582	717	2,543	30,881	2,446	14,788	306	524	14,788	306	524		6,135	16,513	5,386	77,231											
東京都	3,867,504		8,229	1,035,767	15,226	1,221	868	110,257	9,885	162,786	2,883	4,935	162,786	2,883	4,935	189	0	28,798	280,074	28,999											
神奈川県	475,168		32,924	79,074	2,243	929	1,185	32,032	2,466	13,485	15,366	340	667	340	667		7,195	37,750	9,504	57,501											
新潟県	16,775		650	7,948	11		3	3,134	6	39	257	127	39	257	127		45	369	3,785	349											
富山県	1,620		117							1,235	5	18		38	7		32	39	28	92											
石川県	2,017		788	3						1,146	1	2		2			2	5	70												
福井県	2									2																					
山梨県	21,422		45	16,191	77	581	447	1,174	3	265	166	126	166	126		1	77	1,231	415												
長野県	51,001		285	23,216	247	349	2	5,286	199	2,806	232	784	199	2,806	232		0	522	517	14,816											
岐阜県	2,133		31							35	0	137		0						1,923											
静岡県	71,136		6,733	30,386	331	415	3,374	9,570	388	548	2	4	548	2	4		32	2,402	8,886	92											
愛知県	4,551		174	1,175	1					154	4	617	1	387	1		35	146		1,847											
三重県	274		259							3	3,134	8																			
滋賀県	124		24							0																					
京都府	1,373		2	32						37	0	123		0			0			100											
大阪府	26,606		572							80	2,386	15	2,386	15			2			1,173											
兵庫県	207		9							56	1	33		0			2,136	933	18,706												
奈良県	43									3	1	3					12		89												
和歌山県	34									4		24					2		29												
鳥取県																															
島根県	42									2		10																			
岡山県	116									52	0	41		0			11														
広島県	2,431		1,972	42						318	0	46		1			1														
山口県	244									244	0																				
徳島県	8									5	0	0					2														
香川県	433									0	0	0		0			0			432											
愛媛県	249									229							5														
高知県	30									30																					
福岡県	561		10							0	125	22	90	0			71			182											
佐賀県																															
長崎県	970									970																					
熊本県	200																			200											
大分県	2		0							0							1														
宮崎県	80																														
鹿児島県			0																												
沖縄県	7		10	10,856	298	3	138	3,954	335	8,074	165	414					852	2,046	147	32,649											
さいたま市	60,315																														
川崎市																															
横浜市																															
名古屋市																															
岐阜市																															
不明																															
県外一県内	6,143,260		118,260	1,935,611	31,649	10,582	15,711	297,029	17,442	226,938	19,972	24,096	856	5	52,515	374,807	136,968	2,425,606	92	445,067											

表-5 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県外への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬先	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リサイクル品	鉢さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第三号廃棄物	その他		
北海道	1,043																							
青森県	1,081																							
岩手県	3,975																							
宮城県	27,845																							
秋田県	10,831																							
山形県	3,633																							
福島県	34,085																							
茨城県	209,746																							
栃木県	309,661																							
群馬県	180,447																							
千葉県	221,464																							
埼玉県	218,605																							
東京都	103,858																							
神奈川県	19,418																							
新潟県	2,424																							
富山県	124																							
石川県	260																							
福井県	3,191																							
山梨県	5,292																							
長野県	2,438																							
岐阜県	21,248																							
静岡県	13,733																							
愛知県	9,399																							
三重県	224																							
滋賀県	4,272																							
京都府	1,848																							
大阪府	3,049																							
兵庫県	254																							
奈良県	1,710																							
和歌山県	507																							
鳥取県	398																							
島根県	7,509																							
岡山県	7,990																							
広島県	120																							
山口県	0																							
徳島県	0																							
香川県	1,257																							
愛媛県	705																							
福岡県	628																							
佐賀県																								
長崎県																								
熊本県																								
大分県																								
宮崎県																								
鹿児島県																								
沖縄県																								
さいたま市	122,715																							
川崎市	155,079																							
川口市	38,210																							
越谷市																								
県内一県外	1,826,049	18,101	237,357	38,610	21,238	16,798	279,239	10,573	151,269	3,766	40,666	1,208	26	59,882	206,900	29,006	496,325			23,326	636	191,121		

表-6 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

産業廃棄物		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リサイクル品 （ガラス・コンクリート・陶磁器くず）	磁さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	その他
県内→県内	2,568,580	6,952	358,531	7,084	1,429	2,248	229,989	10,421	165,190	2,796	21,842	17	14	37,982	154,631	101,440	1,398,387		2	10,012		59,604
合計	2,568,580	6,952	358,531	7,084	1,429	2,248	229,989	10,421	165,190	2,796	21,842	17	14	37,982	154,631	101,440	1,398,387		2	10,012		59,604

#### 4. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量

##### (1) 県外から県内への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県外から県内への運搬量を整理すると図-7、表-7のとおりである。運搬量の総量は32千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、運搬元では栃木県が最も多くなっている。

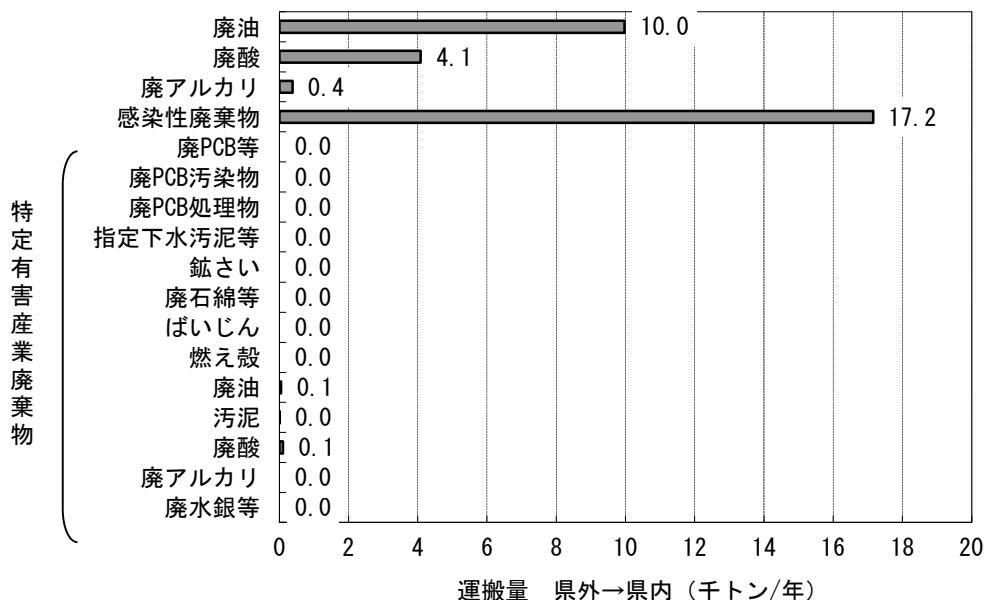


図-7 特別管理産業廃棄物の県外から県内への品目別運搬量

##### (2) 県内から県外への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県内から県外への運搬量を整理すると図-8、表-8のとおりである。運搬量の総量は70千トンであり、品目別では廃油が最も多く、運搬先では栃木県が最も多くなっている。

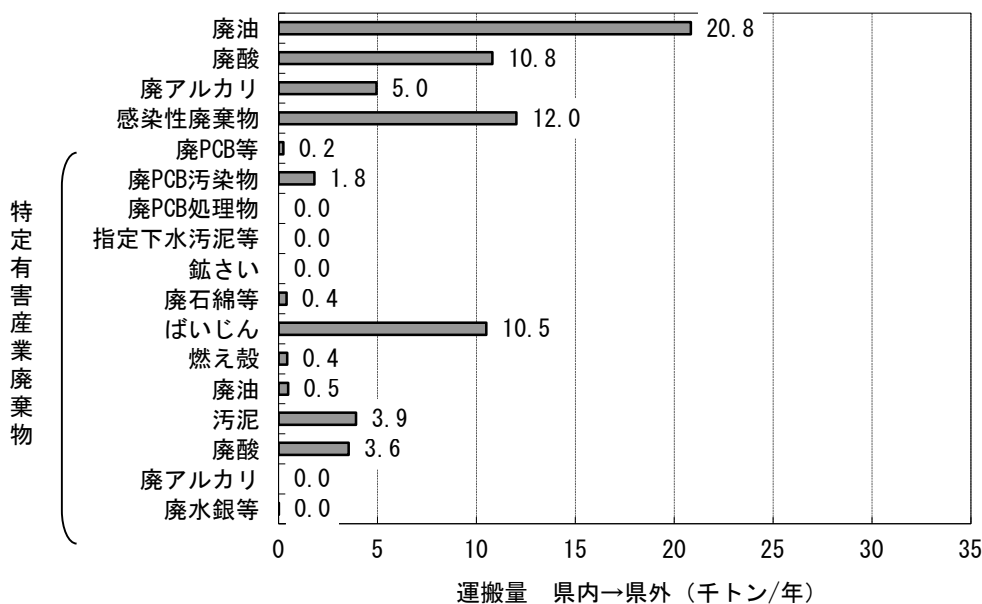


図-8 特別管理産業廃棄物の県内から県外への品目別運搬量

### (3) 県内から県内への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県内から県内への運搬量を整理すると図-9、表-9のとおりである。運搬量の総量は11千トンであり、品目別では感染性廃棄物が最も多くなっている。

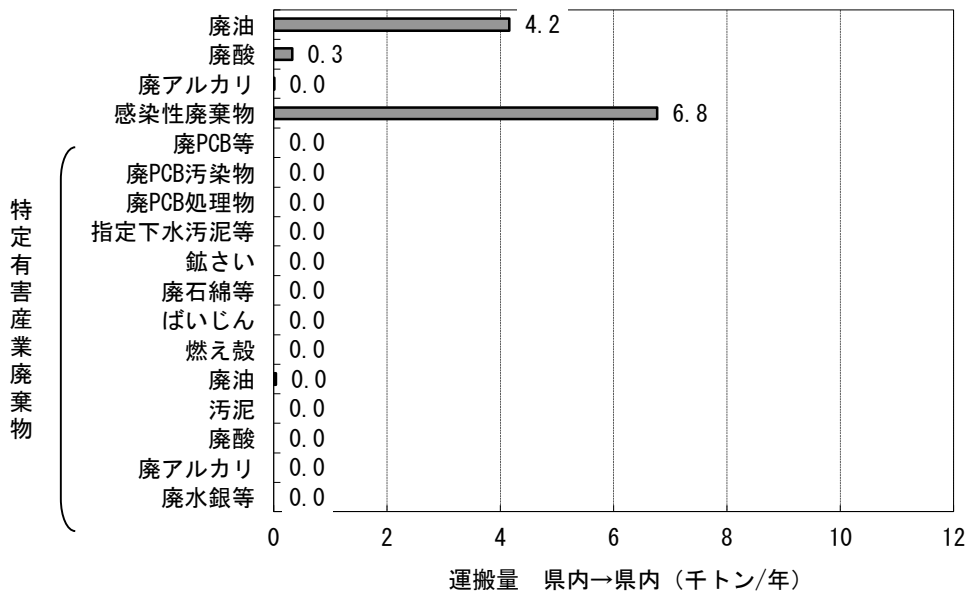


図-9 特別管理産業廃棄物の県内から県内への品目別運搬量

表-7 特別管理産業廃棄物の県外から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物											合計						
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	指定下水汚泥等	鉱さい	廃石綿等	ばいじん		燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等
北海道																		
青森県	65																	
岩手県	271	16		255														
宮城県																		
秋田県	79																	
山形県	1,287	1,266	18	1														
福島県	2,823	2,002	128	677														
茨城県	11,528	484	163	10,861														
栃木県	2,051	1,403	6	634														
群馬県	1,494	1,015	62	403														
千葉県	6,928	910	1,889	2	3,978													
東京都	3,395	1,077	2,082	47	178													
神奈川県	1,084	1,072		12														
新潟県																		
富山県	0			0														
石川県	0			0														
福井県	22	22		0														
山梨県	288	232	4	52														
長野県																		
岐阜県	175	163	2	10														
静岡県	16			16														
三重県																		
滋賀県																		
京都府																		
大阪府																		
兵庫県																		
奈良県																		
和歌山県																		
鳥取県																		
島根県																		
岡山県																		
広島県																		
山口県																		
徳島県																		
香川県																		
愛媛県																		
高知県																		
福岡県																		
佐賀県																		
長崎県																		
熊本県																		
大分県																		
宮崎県																		
鹿児島県																		
沖縄県																		
さいたま市	244	170	0	74														
川崎市																		
川口市																		
越谷市																		
不明																		
県外一県内	31,751	9,976	4,081	378	17,151									51	10	103		

表-8 特別管理産業廃棄物の県内から県外への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物																		
	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	指定下水汚泥等	紙さい	廃石綿等	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等	
北海道	26	0				24	2					11	213		0	0			0
青森県	273														49				
岩手県												66							
宮城県	68	2				15	135				2			121	10	24			
秋田県	618	215	99								4	7,933		34	29	114	26		
山形県	2										78	1,979	207	6	6	200	94		
福島県	8,627	418	1	29	10	2	26				8			6	8	0	0		
茨城県	3,570	1,106	12,853	2,318	94						3	0	45	0	0	0	0		
栃木県	17,895	813	4	2,316	82	73					4			46	140	3	1,619		
群馬県	9,154	2,029	168	591	1	8,122	0	350			4			0	11	214	4		
千葉県	6,050	23	45	38	1,621	25	2				30	171	191	154	3,398	254	3,307		
東京都	1,968	972	2,852	176	632	77	1,009							16	7	59	7		
神奈川県	13,438	0	135	42		0	3				149								
新潟県	786	263	7	0															
富山県	511																		
石川県																			
福井県	2																		
山梨県	2										4			2					
長野県	719	33	331	183	0						16			5	2	84	77		
岐阜県	17										0								
静岡県	1,538	226	14	0							0						1,357		
愛知県	401	234	21								1	67		70			8		
三重県	196	52									144								
滋賀県																			
京都府	172																		
大阪府	463	460	2	1												0	0	69	
兵庫県																			
奈良県																			
和歌山県																			
鳥取県	19	6	0	0		11	2												
島根県																			
岡山県	315	278				2	6				29								
広島県	275	163	22	0											70	15			
山口県	3				1										1				
徳島県																			
香川県																			
愛媛県	214	12	1	3		4	200							10					
高知県																			
福岡県	17																		
佐賀県																			
長崎県																			
熊本県																			
大分県																			
宮崎県																			
鹿児島県																			
沖縄県	3,338	263	1,263	1,049	32														
さいたま市	416	413	0			1									9	20	27	675	0
川崎市		0	3,528	427											0	0	2,235	71	1
川口市																			
越谷市					126														
県内一県外	70,024	20,841	10,814	4,960	12,038	243	1,809				400	10,513	443	481	3,917	3,554			8

表-9 特別管理産業廃棄物の県内から県内への品目別運搬量

(単位：トン/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物														合計				
	特別管理産業廃棄物										特定有害産業廃棄物								
県内→県内	廃油	4,158	329	10	6,765	廃PCB等	廃PCB汚染物	廃PCB処理物	指定下水汚泥等	鉱さい	廃石棉等	ばいじん	燃え殻	廃油	38	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等
	合計	11,300																	



## 5. 産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量

県内での産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の最終処分量を整理すると表-10のとおりである。

最終処分量は12千トンとなっており、県内での最終処分量は、県内から県内への最終処分量が99.9%を占めている。また、県内での最終処分量の約73%が廃プラスチック類である。

表-10 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内、県内から県内への品目別最終処分量

(単位：トン/年)

運搬元	産業廃棄物																合計					
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リサイクル・コンクリート・陶磁器くず	鉋さい	がれき類		動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	その他
県外→県内			0																			11
県内→県内	2,169					8,760																67
合計	2,169		0			8,760																77

## 6. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量

県内処分業者による特別管理産業廃棄物の最終処分量の実績は、昨年度と同様に実績がなかった。



令和4年度  
埼玉県産業廃棄物処理実績報告書等集計業務報告書  
(令和3年度実績)

令和5年3月発行

埼玉県環境部資源循環推進課  
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL 048-830-3108  
FAX 048-830-4091







埼玉県のマスコット「コバトン」